

(掲載期間：平成22年3月1日～平成22年4月30日)

目次

- ◇平成21年度上越教育大学学位記授与式……………1
 - 学長告辞
- ◇平成21年度上越教育大学卒業証書・学位記授与式……………3
 - 学長告辞
- ◇平成22年度上越教育大学大学院入学式……………5
 - 学長告辞
- ◇平成22年度上越教育大学入学式……………7
 - 学長告辞
- ◇学 事……………9
 - 大学院入学者選抜試験（後期募集）
 - 学部入学者選抜個別学力検査等（後期日程）
 - 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科学位記授与式
 - 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科入学式
 - 学生表彰式
 - 平成21年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修
 - 平成22年度新入生オリエンテーション
 - 新入生ノートパソコン準備講習会
 - 平成22年度新入生合宿研修
 - 情報セキュリティ講習会

- ◇人 事……………13
 - 役員等紹介
 - 人事異動
 - 学内委員会等委員
- ◇一般通報事項……………48
 - 役員会
 - 経営協議会
 - 教育研究評議会
 - 教授会
 - ファカルティ・ディベロップメント研修会
 - 臨床研究棟オープニング見学会
 - 退職者永年勤続表彰状授与式
 - 公開講座・免許法認定公開講座
 - 海外渡航
- ◇関係資料……………60
 - 平成22年度学校教育学部入学者選抜試験状況
 - 平成22年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験状況
- ◇主要日誌……………63

平成 21 年度上越教育大学学位記授与式

平成 21 年度の学位記授与式が 3 月 19 日（金）午前 9 時 30 分から本学講堂で挙行された。式は、学生歌演奏、学位記授与、学長告辞、修了生代表答辞、来賓紹介と進行し、蛍の光をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 若 井 彌 一

2 年間、あるいは 3 年間のそれぞれにとっての濃縮された研究と修養の日々を過ごされて、本日ここに学位記授与を認められた皆さんに、ご苦勞をねぎらい、おめでとうと心から祝意を表するものがあります。

本日を一つのステップとして、新たな飛躍の道りをスタートされようとしている皆さんに、三つのことを申し述べたいと思います。

その 1 は、学び続けようとする向上心を持ち続けることの重要性であります。修士論文を書き、あるいは、専門職学位課程での専門的な研修により、皆さんは、この 2 年間あるいは 3 年間のそれ以前とは格段に違う総合力を身に付けたことと思います。しかし、その事実は称賛に値するものではありませんが、それを過去形の自慢話として他人に話すような生活姿勢では、大学院修了者として、多くの人々の信頼と尊敬を得ていくことはできないと思われまます。

このように述べると、「苦しい闇をくぐり抜けて、ようやく晴れ晴れとした気分になれると思っていたのに」と暗い気分になる人がいるかも知れません。無理ありませんね。一つのテーマを、いや、一つではなくても複数のテーマを、皆さんは、精一杯、知力、気力、そして財力、体力を総力出し切って、追いかけて、明らかにしようとしてきました。しばしの間、精神的に解放感を味わってください。

そして、また、「さあやるぞ！」という、気持ちの切りかえができれば、また、再出発のエンジンを始動させてください。ゆったりとした気分でスタートしてください。既に皆さんは、修士または専門職学位を手中にされました。その学位が、どれほどの重みと厚みのあるものとなるかは、今後の皆さんのゆっくりとではあっても、堅実な「学び続けようとする向上心」に支えられた学びの実践の蓄積によって異なったものとなります。

「信頼される専門職」としての学びは、本日で終わりではなく、ましてや完成でもありません。学歴では、最終段階であっても、それは制度上のことであって、専門職としての学びに終わりはありません。学びの道は青天井で、学び続けようとする向上心を忘れることなくさらに、学びの重みと厚みをつけていって欲しいと願っております。気取ることなく、また、焦ることなく、楽しみをもって研鑽を積んでいって下さい。

その 2 は、皆さんには、教育界のリーダー的存在としての実践的な活躍が期待されているということです。「期待」と言えばソフトな響きがありますが、別の表現をすれば「要請」されているのです。その「期待」や「要請」に応えることができれば、「さすが、大学院出の人たちだ」と好意的に評価され、応えられなければ「大学院出と聞いているが、たいした実力はない人だ」と否定的な評価をされていくことになるでしょう。

様々な場面、即ち、授業の指導場面、職員会議や他の校内研修会の場面、緊急事態が発生した際の

対応など実に様々なのですが、そのような多様な観点で、皆さんがどれほどの実践的な力を発揮できるかが、問われていくこととなります。3年たち、5年たち、8年たち、10年たち、皆さんの実力は、段々と多くの人々の知るところとなります。知ったかぶりをしたり、うぬぼれることなく、一つひとつの実践的課題に全力を尽くして誠実に対応していつてくれることを願うものです。仕事(作業)事態はよく出来ても、うぬぼれが強ければ、能力が正当に評価されることなく、職員仲間からも浮いた存在になりかねないことを自覚して欲しいものです。

その3は、同僚であれ、子どもであれ、相手方の話しをじっくりと聞く姿勢と精神的ゆとりをもって、対個人的であれ、対集団的であれ、「自分に、今できる、最善のことは何か」を自問し、行動することを心掛けて欲しいということです。

「修士力」という表現がよく使われていることから知られるように、大学院修了者に対しては、当然、それだけ大きな期待がかけられています。そうは言っても、あらゆることに万能である必要はありません。大切なことは、自分が、他者のために何ができるかという基本的な姿勢を堅持していることです。この姿勢は、専門職であろうとする人々の基本的な心得の一つとと思って下さい。何をすることが、相手方にとって～それが単数であれ複数または集団であれ～自分の存在が「ありがたい」と思ってもらえるのかを自覚しながら行動するように努めたいものです。その姿勢が身に付いているか否かが、長年のうちに、あなたの人物評価の大小や高低を、大きく左右することになると思われます。

最後に、我が国の最近の状況を直視するとき、経済的な危機という大きな国際的規模の波と、政治的な激動という国内的規模の波、そして教育・生産的意欲の後退あるいは低下という人的資源の縮小の波という三つの波が相乗的に作用して、見通しがすっきりしません。しかし、このようなとき、先行きを悲観ばかりしていても始まりません。あなた方に期待されているのは、もっともらしい評論家的な力量ではありません。「日本の将来は、教育の再建から」という意気込みで、教育の実践家あるいは実践的研究者として前向きな取り組みをしていつてくれることを願ってやみません。これは、教育界に身をおいて生きていく人だけでなく他の分野、職業において活路を開いていく人々に対しても共通の願いであります。

最後に一言、付け加えさせていただきます。昨年9月に心ならずも入院の事態となつてしまいました。その後、教職員の皆様の励ましとご支援をいただき、本日のこの日を迎えることができました。

あるいは大学院の皆様にもご心配をおかけしてしまったかと思ひます。万感の思いをもって、皆様の旅立ちをお祝い、全ての教職員とともに、前途有望な皆様のご健康と、堅実なご活躍をお祈りし、告辞といたします。



平成 21 年度上越教育大学卒業証書・学位記授与式

平成 21 年度の卒業証書・学位記授与式が 3 月 19 日（金）午前 11 時 30 分から本学講堂で挙行された。式は、学生歌演奏、卒業証書・学位記授与、学長告辞、卒業生代表答辞、来賓紹介と進行し、蛍の光をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 若 井 彌 一

176 名の卒業生のみなさん、本日は「卒業式」という、晴れの日を迎えました。

この日を迎えるまでの 4 年間あるいは 5 年間、入学してからの学びの道のりは、それぞれ共通の要素を含みながらも、また違ったものであったと思います。今、皆さんの胸の中にゆっくりと、あるいはややスピーディに想い浮かんでくるのはどんな出来事でありましょうか。

胸中を、あるいは、頭の中を去来する内容は、それぞれに異なって当然ではありますが、それぞれに学びの努力を継続して、この晴れの日を迎えられたことに対し、心から「おめでとう」とお祝いの言葉を贈りたいと思います。また、ご出席の保護者の皆様、また、都合で出席されていない保護者の皆様に対しても、この日を迎えるまでのご苦勞に対し、心から敬意を表するものであります。

さて、卒業する皆さんに、私は三つのことを花むけの言葉として述べたいと思います。

先ず一つには、打たれ強い人間になって欲しいということです。皆さんの多くは、学校等の教育界に入って活躍して行くこととなりますが、ニュース報道等で、知られるように、学校あるいは学校教職員に対しては、極めて厳しい要求がつけつけられているのが最近の現実です。やや一般化して言えば「なぜ、うちの子どもにもっと目をかけて、手の届いた指導をしてくれないのか?」、「先生の指導がよくないから、うちの子どもは思うように学習意欲もつかないし、学力も伸びない!」という類の要求です。

個別に見れば、保護者の要求にもっともな理由があるものもありますが、中には、勝手な自己主張であることもあります。さまざまな要求が、直接・間接に出されて来ますが、それらの要求にどのように答えていくことができるか。その対応とその後の努力によって、保護者との信頼関係が大きく左右されます。うろたえることなく、「これが世の中」と思って、説明責任の時代とも称されるこの時代に「教育職」に生きる人間として、どっしり構えて下さい。勿論、誠実な努力は、不可欠であることも当然です。

次に、二つには、手間のかかる子ども、精神的に疲労する、扱いの難しい子どもを見下げたり、問題視したりしてレッテル貼りしない「プロとしての基本的精神（心構え）」を忘れないで持ち続けて欲しいということです。

皆さんは、なぜ、教師が尊敬される社会的存在であるかを考えてみたことがありますか。教育という営みに限りませんが、人が相手方の職業人に対して尊敬の念を持つのは、その人によって、つまりその人の業務の遂行によって「ありがたい!」と感じた場合です。特に専門職 (profession) と称される、教職 (teaching profession)、法律専門職 (juridical profession)、医療専門職 (medical profession) などについては、細かな具体的内容はともかくとして、概略その専門家に期待されていることは明確です。裁判に負けてしまう弁護士さんでは頼りになりません。医療過誤で、人命を失ってしまうような医者も同様です。

その人が、業務によって何をしてくれるのか、その幅が大きいこと、その程度が高度であることが「尊敬されるための必須条件」です。教職もまた然りなのです。

手間のかかる子ども、扱い方の難しい子どもなどを、「やっかいな存在」と思わず、「これぞ私の力量を発揮する、やりがいのある子どもたち」と思えるように自覚をもって自分を鍛えてください。

教育基本法第9条第1項では、「法律に定める学校の教員は自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。」と定めています。ここでいう「崇高な使命」とは、一人一人の子どもを、その子どもの可能性について最大限に開花させていくことを主要な内容としているのです。教職の使命については、「学長メッセージ」でも「教員の地位に関する勧告」(1966年)を例にして説明しておりますので、後日参照してみてください。

手間・暇を惜しんではなりません。辛抱強く接してやれる「プロとしての基本的な心構え」を鍛えなくてはなりません。

最後に三つには、上教大卒業生としての期待を担っていることを自覚して、人間的な磨きを豊かにして行って欲しいということです。

皆さんは、好むと否とに関係なく「上教大卒業生」として、見られていくことになるでしょう。改めて解説するまでもないのですが「上教大」は、教員養成系大学の特色あるブランド大学の一つです。世間の期待が大きいだけに、時には厳しい批判の対象とされることもあります。そのような場合にはくやしさをバネにして、努力と工夫を重ねて行ってください。一人一人の卒業生の皆さんの地道な努力が上教大の信頼度を更に大きく、強固なものにしていくと確信しております。歴史的には、本学はまだ30年余りの歴史を経たに過ぎませんが、我が国の教育界では比較的好く知られている大学の一つであり、教育界の期待も大きいことを時々、思い出しては、それぞれの道で、一步一步前に進んで、子ども・保護者・同僚等から頼りにされる「存在感のある人物」に成長していくことを心から願うものであります。

以上、三つのことを述べて参りました。最後に一言付け加えさせていただきます。昨年9月に私は心ならずも入院の事態となってしまう、大学教職員の皆様にご心配をおかけしてしまいましたが、多くの方々の温かい励まし、支援をいただきました。学生の皆様にもご心配をおかけしてしまったかと思いますが、皆様のおかげでこの日を迎えることができました。

全学の教職員と共に、前途洋々たる皆様のご健康と御多幸、ご活躍を切望致しまして、皆さんへの告辞と致します。



平成 22 年度上越教育大学大学院入学式

平成 22 年度の大学院入学式が 4 月 6 日（火）午前 9 時 30 分から本学講堂で挙行された。

式は、学園歌演奏、学長告辞、入学生代表宣誓、来賓祝辞、役職員紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 若 井 彌 一

本日ここに 302 名の入学生を迎え、御来賓の御臨席を賜り、平成 22 年度大学院入学式を挙行するに当たり、学長として告辞を申し述べたいと思います。

新入生の皆さん、ようこそ、上越教育大学へ！ 厳しい研究と修養の二年間あるいは三年間を送ることを決意して、本学の門をくぐり抜けてくれました皆さんに対し、心から歓迎の意を表します。それと共に本学大学院で学ぶことに理解を示し、皆さんを支えて下さっている御家族・親族の方々から心から感謝と敬意を表します。

人生は、意識すると否とに関わらず、いくつかの選択肢のうちから一つを選択—実行—選択—実行の不定型のなつながりの特徴としています。数多くの職業から、皆さまは、「教職」を選択したか、あるいは選択しようとして、この大学院を受験し入学されたことでしょうか。決意の強さは、人によって違うでしょうが、とにかく、皆さんは、人生の二年又は三年の期間を上越教育大学大学院というところで自分を鍛えるという学びのコースを自ら選択し、今、正にその第一歩を踏み出したこととなります。

本学の大学院での二年又は三年間が充実した日々となることを願って、基本的に心得て、実行して欲しいことを三つ申し述べてみます。

最初に、強調しておきたいことは、皆さんが進もうとしている「教職」あるいは「教師」という職業は、極めて、ドラマチックな、場合によっては、スリリングな一面を持っているということです。テレビのドラマ番組だけでなく、実際がそうなのです。

つい先日、ある県立高校の教頭先生からお便りを頂きました。その中には、お二人の娘さんの父親としての心境が鮮やかに綴られておりました。娘さんのうちお姉さんの方が専門学校を卒業されたのですが、学校生活の様子が、父親をいたく感動させたようでありました。高校生として悩み多かった娘さんが、専門学校に進んで、そこで、先生からの指導でどんどん意欲的になっていった姿に、卒業式の式典では泣けてしようがなかったということでした。そして、自分も（教頭になっているが）、教職に就いて本当に良かったと、改めて実感したということです。

皆さんが近い将来教職について、どのような教職ドラマを作製するかは、皆さん一人ひとりの決断と実行にかかっています。感動的なドラマを作製できるかどうかは、教師としての指導力の程度にも大きく左右されます。その力をつけるために、大学院での学びの日々があるのです。将来の夢ある日々を実現するための土台づくりの日々が大学院生活なのです。

次に（二つ目に）、述べておきたいのは、頼りにされる「教職のプロ」（teaching profession）として共通に必要なとされるのは、「説得力のある説明力」だということでもあります。大学院修了者の場合、小学校のほか、中・高校にも比較的多く就職していくのですが、小・中・高等学校のどの段階であれ、皆さんは、子ども達から、表現は様々ですが、「なぜ、これを勉強（学習）するのか？」とか、「なぜ、これを勉強しなくてはならないのか？」という趣旨の質問を数限りないほどに受けていくことでしょうか。

素朴に、「先生、どうしてこれを勉強するの？」と質問してくるのは、教師にとっては、素直な質問と言ってよいでしょう。「先生、俺、英語嫌いなんだけど、なぜ、英語なんか勉強しなくてはならないの？」と聞いて来たら、皆さんはどう回答するでしょうか。「そんなこと、私に質問されても困る。学習指導要領で学ぶことは決

められているんだから、余計なことは考えないことだ！」というのが、生徒を満足させる回答にはならないでしょう。それでは、どんな回答ができないといけないのか。

学ぶことの知的充実感、学ぶことによる自己の選択回路の拡大、活躍の可能性の拡大を、豊富な事例で相手方を納得させることができる説明能力が必要です。この力を大学院での学びにより、あるいは学びを通して鍛えて下さることを願っております。

そして、もう一つ（三つ目に）、Never give up!の生活態度を鍛えて下さるように願っております。一人の一生は、決して平らな、快適なコースの連続ではなく、凹凸に富んでおります。「人生、山あり、谷あり」とは、良く耳にする人生訓ですが、現実には、もっと凹凸に富んでおり、山の次に更なる山が、谷の次に更なる谷があるということをして、この先皆さんは何度か実感することがあると思われまます。

レベルが高くなってくればくるほど、「もうだめだ！このくらいが自分の限界だ！」と思う壁にぶつかることが何度となく発生します。あきらめることは簡単です。自分の能力に、自分で見切りをつけることは簡単です。簡単な選択肢を短絡的に選ばないで下さい。迷いながらも、可能性に希望を託して、前に進みましょう。何の分野であれ、それが夢のある人生を実現させてくれます。

本学は、大学院における教育界で活躍できる人材育成を使命（ミッション）の一つとして、昭和53年に設立されて以来、教育系大学の先導的役割を担い続けて今日に至っております。皆さんの前には、既に約6,000人の修了生が活躍してきております。そして、皆さんを迎え、教育専門職としての実力のある教員の育成（養成）を使命として、努力と実績を重ねてきたことを踏まえて、国立大学法人となって第二期目に臨むに当たり、更なる教育系大学としての特色ある発展を遂げたいものと教職員一同張り切っております。皆さんも、その一員として、我が国の教育界の未来を切り開くために、夢のある知的、道徳的、応用的能力の開発という希望に満ちた挑戦を自らの課題として自覚し、それぞれに実行して下さることを切望しております。

最後に勇気と決断をもって、大学院に進んで来られた皆さんをあらためて心から歓迎し、皆さんの御健康と御精進を祈念して、私の告辞といたします。



平成 22 年度上越教育大学入学式

平成 21 年度の学部入学式が 4 月 6 日（火）午後 0 時 30 分から本学講堂で挙行された。

式は、学園歌演奏、学長告辞、入学生代表宣誓、来賓祝辞、役職員紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 若 井 彌 一

ただいま入学を許可されました 174 名のみなさん、ご入学を心からお祝いいいたします。今年は、前年に比べて、やや激戦となりましたが、晴れて合格されたことで、ご家族の方々も、さぞやお喜びのことと思います。

本日、ここに、ご来賓の皆さんの御臨席の下、大きな可能性を秘めた 174 名の入学生を迎えて、平成 22 年度学部入学式を挙行できますことは、我々教職員一同にとって誠にありがたく思う次第であります。

さて、新入生の皆さん、今日から皆さんは、上越教育大学の学生としての歩みを始めたこととなります。お祝いを申し上げるとともに、上教大の学生として、立派に育ってくださることを願って、私の期待を申し上げたいと思います。

第一に、一人ひとりが、上教大生としての自覚と誇りを持ち、それぞれの継続可能な向上努力を重ねて欲しいということでもあります。「学問の さびしさに堪へ 炭をつぐ」という山口誓子の句があります。学問というと少々上品な感じがしますが、勉学と言い換えても同じことです。一人静かに読書をし、考え、あるいは、毎日の練習計画を立てて、それに基づいた練習を黙々と続ける自分の姿を想像してみてください。

今年のカナダ・バンクーバーオリンピックは、日本選手団の成績があまりパッとしませんでした。その後のパラリンピックでは立派な活躍ぶりを示してくれて、我々にも大きな励みとなりました。障害をもちながら、それに気負うことなく、前向きに生きる姿、そして、その結果として、世界的な大会で見事な成果を出してみせることが、どれほど多くの人々に「生きる勇気」と希望をもって努力することのすばらしさを教えてくれているか知れません。

人は、他者に感動を与えることができる存在であり、また、他者から感動をもらうことができる存在でもあります。上教大は、全国の広域な地域から学生が集まっている教育系大学としては、広域分布型大学の一つに属しております。その特色を生かして、皆さん、仲間になんか感動を与え、また仲間から感動を与えられる生活、言わば感動の連鎖となる生活を心掛けてください。

第二に、他人の話を静かに、相手の気持ちを考えながら、何を言おうとしているのか、そのポイントを的確に捉えることができる、「聞く力」を鍛えて欲しいということです。こう言うと初歩的な力のようにも思われますが、この力が教師になっていく人々には、不可欠であります。世の中に、表面的な話し上手は、沢山います。しかし、聞き上手は、存外、少数かも知れません。義務教育学校の教員になっていく人々には、特にこの力を養っておいて欲しいと願っています。

残念ながら、児童・生徒の全てが例外なく、勉強好きというわけではありません。「勉強と聞いただけでも 寒気がする」という子どもが例外的存在ではないのです。しかし、その子ども達にも、教育を受ける権利（日本国憲法 26 条第 1 項）を一人ひとりの個性を配慮しながら、保障していく教育のプロ（teaching profession）…それが先生なのです。物覚えの良い子ども、性格が素直な子ども、粘り強い子ども、協調性のある子ども…このような子どもだけであれば、学校の教員は、実に楽な職業なのですが、現実はそうではありません。だから面白いのです。

そして、一見した限りでは、物覚えがよくなく、性格が素直でない、すぐに飽きたり、あきらめたりする、協調性が欠如していると思われるような子どもであっても、適切な指導・支援がされれば、子どもは劇的に変わっていくこともよく知られています。やや誇張した言い方をすれば、教師の適切な指導・支援によって、子どもは、その可能性を大きく開花させていく可能体であるということです。

このような指導・支援ができる力をつけるためには、子どもの興味、関心、意欲を、子どもの言動からの確に捉える力を養っておくことが肝要です。「聞く力」の鍛えは、そのために必要なのです。

第三に、自分の強みと言えるものを意識的に鍛えておくことのすすめです。子ども達は、何ができる先生かを楽しみにしています。「何でもいいのです」と強調したいほど、その幅（内容）は広範であり、特定の限定されたものではありません。教科についても、ある教科の全体についてでなくても、特定の教材については強いということでも良いのかも知れません。

将棋やトランプ、手品なども、あるいは楽器の特定の演奏技術でも結構です。時間を見つけて、楽しみながら、自分のできる強みを磨いてください。

私は、教育法規の授業を担当して参りましたが、その授業で、ある年のある時間に円周率の数字の並びを受講生に言ってもらったことがありました。そうしましたら、山形県から派遣されて来ていた現職教員が何と五十桁を超えて、なお、言えるではありませんか。その時の、学生達の大きな叫び声、今でも鮮やかに思い出します。次の時間から、その学生（教員）を見る学生達の目が、変わったように思ったものでした。一つの強みのごくささやかな事例です。

何の世界もそうですが、人々を感動させるような豊かな成果、成績、記録などは、一朝一夕に出来るものではありません。豊かな可能性を秘めている皆さんの自主的・自発的な学びと、無理のない、継続的な自己向上努力によって、学校教育法で期待されている「知的・道徳的及び応用的能力」（83条）を獲得してくれることを期待しております。

皆さんの四年間の生活が、健康と幸いに恵まれ、充実した日々となることをお祈りして、私の告辞といたします。



学 事

○大学院入学者選抜試験（後期募集）

平成22年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験（後期募集）を次のとおり実施した。

修士課程は、募集人員66人（学校教育専攻25人，教科・領域教育専攻41人）に対し，応募者58人，合格者36人であった。

専門職学位課程（教職大学院）は，募集人員5人（教育実践高度化専攻5人）に対し，応募者3人，合格者3人であった。

入学願書受付：平成22年2月1日（月）～2月9日（火）

試験日：平成22年3月5日（金）

合格者発表：平成22年3月18日（木）

○学部入学者選抜個別学力検査等（後期日程）

平成22年度学校教育学部一般入試（後期日程）を次のとおり実施した。

募集人員33人に対し，応募者371人，合格者47人であった。

入学願書受付：平成22年1月25日（月）～平成22年2月3日（水）

試験日：平成22年3月12日（金）

合格者発表：平成22年3月23日（火）

○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科学位記授与式

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の平成21年度学位記授与式が平成22年3月26日（金）に兵庫教育大学において行われた。

なお，修了者17人（前期末修了者2人を除く。）のうち，本学の配属学生は6人であった。

○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科入学式

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の平成22年度入学式が平成22年4月13日（火）に兵庫教育大学において行われた。

なお，入学者28人のうち，本学の配属学生は9人であった。

○学生表彰式

課外活動で特に顕著な成果があった学生及び学業等が特に優秀な学生等を対象に、学生表彰式を実施し、表彰状を授与するとともに、記念品を贈呈した。

期 日 : 平成22年3月19日(金)

場 所 : 講堂

被表彰者 :

被表彰者	表 彰 事 由
深草 めぐみ 学校教育学部 教科・領域教育専修社会系 コース2年	平成21年度北信越学生テニス選手権大会女子単 優勝
瀧澤 恵美 学校教育学部 教科・領域教育専修言語系 コース(英語)3年	第49回全国教育(学芸)大学卓球選手権大会女子ダブルス 第1位
森田 志歩 学校教育学部 教科・領域教育専修言語系 コース(国語)4年	学業成績優秀者
岡田 郁子 学校教育学部 教科・領域教育専修言語系 コース(国語)4年	学業成績優秀者
井出 有香 大学院学校教育研究科 教科・領域教育専攻自然系 コース(理科)2年	第49回全国教育(学芸)大学卓球選手権大会女子ダブルス 第1位
小栗 志乃 大学院学校教育研究科 教科・領域教育専攻芸術系 コース(音楽)2年	第3回横浜国際音楽コンクール声楽部門一般の部 第2位

※学年は、3月19日現在

○平成21年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修

本学の課外活動団体のリーダーが、その任務を深く認識し、意見交換を通してリーダーとしての基本的知識を修得するとともに、課外活動団体相互の親睦と理解に基づき、課外活動の発展向上が図られることを目的として実施した。

期 日 : 平成22年3月8日(月)～9日(火)(1泊2日)

場 所 : 国立妙高青少年自然の家

参加人員 : 学 生 40団体102人
教職員 10人



○平成22年度新入生オリエンテーション

新入生が、学生生活を送る上で知っておく必要がある教育課程、履修方法及び学生指導等に係る基本的知識を修得することを目的として実施した。

期 日 : 平成22年4月6日(火)～7日(水)

場 所 : 講堂, 講義棟301教室 ほか

内 容 : 〈学部〉

大学教育, 教育課程と履修方法, 海外教育研究, クラス担当教員による指導, 学生指導, 保健管理センター ほか

〈大学院〉

大学院の教育・研究, 教育課程と履修方法, 海外教育特別研究, 個別指導, 学生指導, 保健管理センター, 就職指導 ほか



○新入生ノートパソコン準備講習会

新入生が各自所有するノートパソコンを、学内において活用できるようサポートするため、次のとおり講習会を実施した。

- 期 日 : 平成22年4月12日(月)～16日(金), 19日(月)～23日(金)
場 所 : 教育情報訓練室1, 教育情報訓練室2, 情報演習自習室
講習内容 : 1) アンチウイルスソフトの導入及びチェックの方法
2) 学内ネットワーク接続の方法
3) ポータルサイト, Webメール, 講義支援システムの利用方法 等
参加人員 : 学部新入生 167人 / 大学院新入生 81人

○情報セキュリティ講習会

新入生を主な対象として、大学における教育・研究活動等において、コンピュータのウイルス感染や不正侵入, 個人情報の流出などの対策等, 安全にコンピュータを利用するために必要不可欠な「情報セキュリティ対策」に関して、以下のとおり講演会を実施した。

- 期 日 : 平成22年4月14日(水)
場 所 : 講 堂
講習内容 : 「情報セキュリティ入門」
1) 安全に, 安心してパソコンを利用していくために
2) 情報セキュリティ対策に関する5つの対策
3) 「個人情報」を守ることの大切さ 等
講 師 : 情報メディア教育支援センター 准教授 石川 真
参加人員 : 学部新入生 174人 / 大学院新入生 210人

○平成22年度新入生合宿研修

入学後間もない時期に集団活動(生活)を通じて, 新入学生相互並びに教職員との親和を図り, お互いの理解を深め, その後の学業上・生活上の安定・充実を図ることを目的として実施した。

- 期 日 : 平成22年4月23日(金)～24日(土)(1泊2日)
場 所 : 国立妙高青少年自然の家
参加人員 : 1年次学生 172人
教職員 26人



人 事

○役員等紹介

役 職	氏 名	任 期	経 歴
理 事	わたなべ よしかず 渡 部 良 和	平成22年4月1日 ～ 平成24年3月31日	昭和51年5月 室蘭工業大学 昭和58年10月 文部省 平成8年4月 埼玉大学 平成11年4月 文部省 平成14年4月 日本体育・学校健康センター 平成16年4月 大阪教育大学財務部長 平成18年10月 独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部長 平成22年4月 国立大学法人上越教育大学理事
監 事 (非常勤)	はせがわ あきら 長谷川 彰	平成22年4月1日 ～ 平成24年3月31日	昭和41年4月 東北大学理学部助手 昭和55年1月 新潟大学教養部助教授 昭和60年10月 新潟大学教養部教授 平成6年4月 新潟大学理学部教授 平成9年4月 新潟大学理学部長 平成14年2月 新潟大学長 平成16年4月 国立大学法人新潟大学長 (～平成20年1月) 平成20年1月 財団法人新潟県文化振興財団理事長 (～現在に至る) 平成20年4月 国立大学法人上越教育大学監事
監 事 (非常勤)	おおはら けいすけ 大 原 啓 資	平成22年4月1日 ～ 平成24年3月31日	昭和56年4月 富士鉄鋼資材株式会社 昭和59年9月 大久保公認会計士事務所 昭和62年10月 太田昭和監査法人 (現 新日本監査法人) 平成4年9月 大原会計事務所長 平成16年4月 国立大学法人上越教育大学監事

○人事異動

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	役 員			
H22. 3. 30	退 職	(文部科学省)	新 宅 鉄 衛	理事
H22. 4. 1	任 命	理事	渡 部 良 和	独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金部長
	任 命	監事	長谷川 彰	
	任 命	監事	大 原 啓 資	
	部局長等			
H22. 4. 1	任 命	経営協議会委員	渡 部 良 和	理事
	任 命	経営協議会委員	村 山 秀 幸	上越市長
	任 命	経営協議会委員	小和田 亮	トヨフジ海運株式会社特別顧問
	任 命	経営協議会委員	佐々木 正 峰	国立科学博物館顧問
	任 命	経営協議会委員	中 野 敏 明	上越市教育委員会教育長（前新潟県中学校長 会会長）
	任 命	経営協議会委員	蓮 見 音 彦	元東京学芸大学長
	任 命	経営協議会委員	渡 邊 隆	新潟県立看護大学長
	任命解除	教育研究評議会評議員	溝 上 武 實	教授（自然・生活教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	廣 瀬 裕 一	教授「教育実践高度化専攻」
	任 命	教育研究評議会評議員	渡 部 良 和	事務局長
	任 命	教育研究評議会評議員	下 川 洋 司	学務部長
	兼務解除	教育実践高度化専攻長	小 林 辰 至	教授「教科・領域教育専攻」
	兼 務	教育実践高度化専攻長	廣 瀬 裕 一	教授「教育実践高度化専攻」
	兼務解除	広報室長	戸 北 凱 惟	理事
	大学教員			
H22. 3. 31	定年退職		結 城 忠	教授（学校教育学系）
	定年退職		森 博	教授（自然・生活教育学系）
	定年退職		池 田 操	教授（芸術・体育教育学系）
	定年退職		福 岡 奉 彦	教授（芸術・体育教育学系）
	退 職	神戸学院大学人文学部講師	道 城 裕 貴	助教（臨床・健康教育学系）
H22. 4. 1	昇 任	教授（学校教育学系）	松 本 健 義	准教授（学校教育学系）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	採 用	教授（自然・生活教育学系）	松 本 健 吾	横浜市立大学国際総合科学部准教授
	採 用	准教授（学校教育学系）	松 井 千鶴子	新潟県教育庁義務教育課指導主事
	採 用	准教授（学校教育学系）	早 川 裕 隆	鎌ヶ谷市立東部小学校教頭
	採 用	准教授（学校教育学系）	辻 野 けんま	大阪市立大学特任講師
	採 用	准教授（臨床・健康教育学系）	加 藤 哲 則	愛知県立名古屋養護学校教諭
	昇 任	准教授（臨床・健康教育学系）	高 橋 靖 子	助教（臨床・健康教育学系）
	採 用	准教授（人文・社会教育学系）	畔 上 直 樹	首都大学東京都市教養学部助教
	採 用	准教授（自然・生活教育学系）	長谷川 敦 司	独立行政法人情報通信研究機構総合企画部新 世代ネットワーク研究開発戦略推進室専攻研究員
	採 用	准教授（自然・生活教育学系）	吉 澤 千 夏	文京学院大学人間学部准教授
	昇 任	准教授（芸術・体育教育学系）	大 橋 奈希左	講師（芸術・体育教育学系）
	採 用	講師（学校教育学系）	井 本 佳 宏	北海道文教大学人間科学部講師
	採 用	講師（臨床・健康教育学系）	八 島 猛	独立行政法人国立病院機構西多賀病院児童指 導員
	採 用	講師（自然・生活教育学系）	稲 田 結 美	
	採 用	講師（芸術・体育教育学系）	伊 藤 将 和	東京芸術大学絵画科油絵専攻教育研究助手
	採 用	特任准教授（学校教育実践研究センター）	津 野 治 彦	長岡市立大積小学校教頭
	兼 務	教授「教科・領域教育専攻生活・健康系コー ス」	加 藤 泰 樹	副学長
	兼 務	教授「教科・領域教育専攻生活・健康系コー ス」	川 崎 直 哉	副学長
	兼 務	教授「教科・領域教育専攻社会系コース」	佐 藤 芳 徳	副学長
	兼 務	教授「教科・領域教育専攻言語系コース」	下 西 善三郎	副学長
	兼務解除	教授（学校教育実践研究センター）	小 林 辰 至	教授（自然・生活教育学系）
	兼務解除	准教授（学校教育実践研究センター）	井 上 久 祥	准教授（学校教育学系）
	兼 務	教授（学校教育実践研究センター）	廣 瀬 裕 一	教授（学校教育学系）
	兼 務	教授（学校教育実践研究センター）	瀬 戸 健	教授（学校教育学系）
	兼 務	准教授（学校教育実践研究センター）	原 瑞 穂	准教授（人文・社会教育学系）
H22. 4. 24	育児休業	（22. 4. 24～23. 2. 25）	角 谷 詩 織	准教授（学校教育学系）
	附属教員			
H22. 3. 30	退 職	（春日小学校養護教諭）	富 永 範 子	附属幼稚園養護教諭
H22. 3. 31	退 職	新潟県教育庁義務教育課管理主事	柳 恒 雄	附属小学校副校長
	退 職	上越市立大町小学校教諭	尾 矢 貞 雄	附属小学校教諭

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H22. 4. 1	退 職	十日町市立中里中学校長	岸 勝 巳	附属中学校教頭
	退 職	糸魚川市立根知小学校教頭	宮 川 高 広	附属中学校主幹教諭
	退 職	新発田市立本丸中学校教諭	平 野 克 之	附属中学校教諭
	退 職	上越市立城北中学校教諭	上 雅 次	附属中学校教諭
	採 用	附属幼稚園養護教諭	大日向 仁 代	糸魚川市立能生中学校養護教諭
	採 用	附属小学校副校長	神 村 大 輔	下越教育事務所指導主事
	採 用	附属小学校教諭	関 谷 俊 彦	上越市立春日小学校教諭
	採 用	附属中学校教頭	熊 木 徹	魚沼市立東湯之谷小学校教頭
	昇 任	附属中学校主幹教諭	尾 崎 誠	附属中学校指導教諭
	配 置 換	附属中学校指導教諭	保 坂 修	附属中学校教諭
	採 用	附属中学校教諭	濁 川 朋 也	柏崎市立第一中学校教諭
	採 用	附属中学校教諭	渡 邊 孝 弘	上越市立直江津中学校教諭
	採 用	附属中学校教諭	寺 田 寛	長岡市立表町小学校教諭
H22. 3. 31	事務系職員			
	定年退職		中 道 公 壽	学務部長
	定年退職		齋 藤 勇 郎	総務部総務課長
H22. 4. 1	退 職	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構施設部整備管理課長	安 田 誠	総務部施設マネジメント課長
	退 職	独立行政法人国立高等専門学校機構石川工業高等専門学校事務部長	草 間 忠 明	学務部教育支援課長
	退 職	国立大学法人茨城大学学術企画部学術情報課長	室 橋 真	学務部学術情報課長
	退 職	国立大学法人新潟大学財務部資産管理課管理係長	服 部 正 人	総務部施設マネジメント課施設チーム主査 (主に施設企画担当)
	退 職	(期間満了)	笹 川 和 博	学務部学生支援課学生支援チーム
	在籍出向	独立行政法人国立青少年教育振興機構国立妙高青少年自然の家事業推進係長	松 木 光 永	学務部研究連携室研究連携チーム主任
	在籍出向	独立行政法人国立青少年教育振興機構国立妙高青少年自然の家総務係	風 間 健 一	学務部教育支援課学校連携チーム
	兼 務	事務局長	渡 部 良 和	理事
	事務取扱	総務部長事務取扱	渡 部 良 和	事務局長
	採 用	学務部長	下 川 洋 司	国立大学法人弘前大学学務部教務課長
昇 任	広報室長	石 田 芳 邦	広報室室長補佐	
採 用	総務部総務課長	関 宗 興	国立大学法人群馬大学総務部人事労務課長	

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	配 置 換	総務部企画室長	後 藤 公 夫	学務部研究連携室長
	採 用	総務部施設マネジメント課長	上 原 光 夫	国立大学法人横浜国立大学施設部施設企画課副課長
	配 置 換	学務部教育支援課長	亀 井 宣 幸	総務部企画室長
	昇 任	学務部研究連携室長	細 谷 敏 明	総務部総務課副課長
	採 用	学務部学術情報課長	貴 村 好 隆	国立大学法人岐阜大学学術情報部情報サービス課長
	配 置 換	広報室広報チーム主査（主に広報担当）	永 井 和 行	学務部入試課入試チーム主査（主に企画・調査担当）
	配 置 換	総務部総務課副課長	佐 藤 誠 一	学務部教育支援課副課長（教務支援担当）
	任期更新	総務部総務課総務チーム	江 口 清	総務部財務課契約チーム
	復 帰	総務部企画室企画・評価チーム	岡 本 世 紀	独立行政法人大学評価・学位授与機構評価事業部評価第1課
	配 置 換	総務部財務課財務チーム主査（主に財務・監査担当）	米 内 治	総務部財務課財務・監査チーム主査（主に財務・監査担当）
	配 置 換	総務部財務課財務チーム主査（主に予算担当）	竹 内 真 一	総務部財務課財務・監査チーム主査（主に予算担当）
	配 置 換	総務部財務課財務チーム主査（主に決算担当）	池 田 謙 哉	総務部財務課財務・監査チーム主査（主に決算担当）
	配 置 換	総務部財務課財務チーム主査（主に出納担当）	瀧 澤 政 之	総務部財務課経理チーム主査（主に出納担当）
	配 置 換	総務部財務課財務チーム主任	岩 澤 秀 輝	総務部財務課財務・監査チーム主任
	配 置 換	総務部財務課財務チーム	秋 山 裕 輝	総務部財務課経理チーム
	配 置 換	総務部財務課経理・契約チーム主査（主に経理謝金担当）	池 田 彰	総務部財務課経理チーム主査（主に経理謝金担当）
	配 置 換	総務部財務課経理・契約チーム主査（主に経理旅費担当）	秋 山 由美子	総務部財務課経理チーム主査（主に経理旅費担当）
	配 置 換	総務部財務課経理・契約チーム主査（主に契約担当）	星 野 太 一	総務部財務課契約チーム主査（主に契約担当）
	配 置 換	総務部財務課経理・契約チーム主任	五百川 初 恵	総務部財務課契約チーム主任
	配 置 換	総務部財務課経理・契約チーム主任	村 椿 和 之	総務部財務課契約チーム主任
	配 置 換	総務部財務課経理・契約チーム主任	高 橋 信 寿	総務部財務課契約チーム主任
	配 置 換	総務部財務課経理・契約チーム自動車運転手	塚 田 正 敏	総務部財務課契約チーム自動車運転手
	復 帰	総務部施設マネジメント課施設チーム主査（主に施設企画担当）	秋 山 洋	独立行政法人国立青少年教育振興機構国立妙高青少年自然の家管理係長
	昇 任	学務部教育支援課副課長（教務支援担当）	佐 藤 裕 子	学務部教育支援課教務支援チーム主査（主に教務情報担当）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	昇 任	学務部教育支援課教務支援チーム主査（主に教務情報担当）	大 貫 健 治	総務部企画室企画・評価チーム主任
	採 用	学務部教育支援課学校連携チーム	倉 内 孝 行	
	昇 任	学務部研究連携室研究連携チーム主査（主に地域連携担当）	松 崎 富 江	学務部教育支援課学校連携チーム主任
	復 帰	学務部研究連携室研究連携チーム	中 川 裕 介	総務部総務課人事・労務チーム（文部科学省行政実務研修生）
	採 用	学務部研究連携室研究連携チーム	市 村 渉	
	昇 任	学務部学生支援課学生支援チーム主査（主に課外活動担当）	渡 邊 真紀子	学務部就職支援室就職支援チーム主任
	任期更新	学務部学生支援課学生支援チーム	池 田 健 助	学務部研究連携室研究連携チーム
	任期更新	学務部学生支援課学生支援チーム	船 越 幸 子	学務部学生支援課学生支援チーム
	配 置 換 担当命免	学務部就職支援室就職支援チーム主任 学務部入試課入試チーム主査（主に企画・調査担当）	谷 口 紀 子 水 野 栄 二	学務部学術情報課学術情報チーム主任 学務部入試課入試チーム主査（主に学部入試担当）
	配 置 換 担当命免	学務部入試課入試チーム主査（主に大学院入試担当） 学務部入試課入試チーム主査（主に学部入試担当）	橋 本 彰 桐 山 敦 史	学務部学生支援課学生支援チーム主査（主に課外活動担当） 学務部入試課入試チーム主査（主に大学院入試担当）
	復 帰	学務部入試課入試チーム主任	木 村 康 司	独立行政法人国立青少年教育振興機構国立妙高青少年自然の家総務係主任
	採 用	学務部学術情報課学術情報チーム	黒 川 将 一	
	事務補佐員			
H22. 3. 31	退 職	（期間満了）	宮 本 憲 子	総務部総務課総務チーム
	退 職	（期間満了）	小 原 直 子	総務部総務課総務チーム
	退 職	（期間満了）	片 平 裕 美	総務部総務課人事・労務チーム
	退 職	（期間満了）	黒 田 美代子	総務部総務課人事・労務チーム
	退 職	（期間満了）	竹 田 真美子	総務部施設マネジメント課施設チーム
	退 職	（期間満了）	山 田 克 彦	学務部研究連携室研究連携チーム
H22. 4. 1	採 用	総務部総務課総務チーム	一 藁 由美子	
	採 用	総務部総務課総務チーム	野 田 鮎 美	
	採 用	総務部総務課人事・労務チーム	荒 木 文 子	
	採 用	総務部総務課人事・労務チーム	大 野 知 鶴	
	採 用	学務部教育支援課学校連携チーム	佐 藤 美 香	
	採 用	学務部研究連携室研究連携チーム	佐 藤 三喜雄	

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H22. 4. 5	採 用 採 用	総務部施設マネジメント課施設チーム 学務部教育支援課学校連携チーム	有 木 千 代 渡 邊 利 一	
	臨時用務員			
H22. 3. 24	退 職	(期間満了)	寺 沢 美 幸	総務部附属学校事務室附属学校チーム調理員
H22. 3. 26	退 職	(期間満了)	小 林 祐 子	総務部附属学校事務室附属学校チーム調理員
H22. 3. 31	退 職	(期間満了)	渡 部 正 由	総務部施設マネジメント課施設チーム作業員
H22. 4. 1	採 用	総務部施設マネジメント課施設チーム作業員	高 橋 博 男	
H22. 4. 2	採 用 採 用	総務部附属学校事務室附属学校チーム調理員 総務部附属学校事務室附属学校チーム調理員	宮 崎 優 子 太 田 里 美	
	キャリア コーディネーター			
H22. 3. 31	退 職	(期間満了)	長 野 克 水	学務部就職支援室就職支援チーム
	退 職	(期間満了)	池 田 定 充	学務部就職支援室就職支援チーム
	退 職	(期間満了)	碓 井 欣 一	学務部就職支援室就職支援チーム
	退 職	(期間満了)	朝比奈 ト ミ	学務部就職支援室就職支援チーム
H22. 4. 1	採 用 採 用 採 用	学務部就職支援室就職支援チーム 学務部就職支援室就職支援チーム 学務部就職支援室就職支援チーム	五 島 由美子 江 口 明 建 部 朝 美	
	特別支援教育 実践研究センター サポートスタッフ			
H22. 4. 6	採 用	特別支援教育実践研究センター	金 泉 晶 子	

○学内委員会等委員

大学改革委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
戸北 凱惟	理事	---		
渡部 良和	理事	---		
加藤 泰樹	副学長	---		
川崎 直哉	副学長	---		
佐藤 芳徳	副学長	---		
下西善三郎	副学長	---		委員長
加藤 雅啓	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
天野 和孝	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
増井 三夫	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
加藤 哲文	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
松田 慎也	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
立屋敷かおる	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
後藤 丹	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
藤岡 達也	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
野村眞木夫	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
廣瀬 裕一	教授	---	22. 4. 1～23. 3. 31	
小林 辰至	教授	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
下川 洋司	学務部長	---		

以上18名

教育研究評議会に置かれる委員会

大学教員人材評価委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
戸北 凱惟	理事	---		委員長
川崎 直哉	副学長	---		
下西善三郎	副学長	---		
増井 三夫	学校教育学系長	---		
加藤 哲文	臨床・健康教育学系長	---		
松田 慎也	人文・社会教育学系長	---		
立屋敷かおる	自然・生活教育学系長	---		
後藤 丹	芸術・体育教育学系長	---		
藤岡 達也	学校教育専攻長	---		
野村眞木夫	教科・領域教育専攻長	---		
廣瀬 裕一	教育実践高度化専攻長	---		
石野 正彦	学長指名	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	

以上12名

教育研究評議会に置かれる委員会

学術研究委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
川崎 直哉	副学長	---		
下西善三郎	副学長	---		委員長
(下西善三郎)	附属図書館長	---		
加藤 雅啓	学校教育実践研究センター長	---		
南部 昌敏	情報メディア教育支援センター長	---		
増井 三夫	学校教育学系長	---		
加藤 哲文	臨床・健康教育学系長	---		
松田 慎也	人文・社会教育学系長	---		
立屋敷かおる	自然・生活教育学系長	---		
後藤 丹	芸術・体育教育学系長	---		
中山勘次郎	学校臨床研究コース長	---		
五十嵐透子	臨床心理学コース長	---		
鈴木 情一	幼児教育コース長	---		
我妻 敏博	特別支援教育コース長	---		
有澤俊太郎	言語系コース長	---		
浅倉 有子	社会系コース長	---		
高津戸 秀	自然系コース長	---		
西村 俊夫	芸術系コース長	---		
黎 子椰	生活・健康系コース長	---		
西川 純	教育実践リーダーコース長 学校運営リーダーコース長	---		
下川 洋司	学務部長	---		

以上20名

教育研究評議会に置かれる委員会

カリキュラム企画運営会議

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
佐藤 芳徳	副学長	---		議長
川崎 直哉	副学長	---		
中川 仁	教務委員会委員	教授	21. 10. 1～23. 3. 31	
釜田 聡	教育実習委員会委員	教授	21. 10. 1～23. 3. 31	
中里 理子	ファカルティ・ディベロップメント委員会委員	准教授	22. 4. 1～23. 3. 31	
後藤 公夫	総務部企画室長	---		
亀井 宣幸	学務部教育支援課長	---		
増井 三夫	学長指名	教授	21. 10. 1～23. 3. 31	
梅野 正信	学長指名	教授	21. 10. 1～23. 3. 31	
中山勘次郎	学長指名	教授	21. 10. 1～23. 3. 31	
河合 康	学長指名	准教授	21. 10. 1～23. 3. 31	
野村眞木夫	学長指名	教授	21. 10. 1～23. 3. 31	
後藤 丹	学長指名	教授	21. 10. 1～23. 3. 31	
土田 了輔	学長指名	准教授	21. 10. 1～23. 3. 31	
立屋敷かおる	学長指名	教授	21. 10. 1～23. 3. 31	
小林 辰至	学長指名	教授	21. 10. 1～23. 3. 31	
松本 修	学長指名	教授	21. 10. 1～23. 3. 31	

以上17名

法人に置かれる委員会

セクシュアル・ハラスメント等人権侵害対策委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
戸北 凱惟	理事	---		委員長
増井 三夫	学校教育学系長	---		
加藤 哲文	臨床・健康教育学系長	---		
松田 慎也	人文・社会教育学系長	---		
立屋敷かおる	自然・生活教育学系長	---		
後藤 丹	芸術・体育教育学系長	---		
上野 光博	保健管理センター所長	---		
林 泰成	附属小学校長	---		
渡部 良和	総務部長事務取扱	---		
下川 洋司	学務部長	---		

以上10名

法人に置かれる委員会

大学評価委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
加藤 雅啓	学校教育実践研究センター長	---		
内藤 美加	学校教育学系	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
村中 智彦	臨床・健康教育学系	講師	22. 4. 1～24. 3. 31	
吉田 昌幸	人文・社会教育学系	講師	22. 4. 1～24. 3. 31	
高橋 等	自然・生活教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
大橋奈希左	芸術・体育教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
安藤 知子	学校教育専攻	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
松田 慎也	教科・領域教育専攻	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
久保田善彦	教育実践高度化専攻	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
天野 和孝	附属中学校長	---		
渡部 良和	事務局長	---		
下川 洋司	学務部長	---		
西村 俊夫	学長指名	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	

以上14名

法人に置かれる委員会

情報・広報委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
戸北 凱惟	理事	---		委員長
田島 弘司	学校教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
藤井 和子	臨床・健康教育学系	講師	22. 4. 1～24. 3. 31	
小島 伸之	人文・社会教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
伊達 文治	自然・生活教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
長谷川正規	芸術・体育教育学系	講師	22. 4. 1～24. 3. 31	
釜田 聡	学校教育実践研究センター	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
井上 久祥	情報メディア教育支援センター	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
小出 佳子	附属幼稚園副園長	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
渡部 良和	総務部長事務取扱	---		
下川 洋司	学務部長	---		
安部 泰	学長指名	講師	21. 4. 1～23. 3. 31	

以上12名

法人に置かれる委員会

施設安全・環境委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
赤坂 真二	学校教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
稲垣 応顕	学校教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
井沢功一朗	臨床・健康教育学系	講師	22. 4. 1～24. 3. 31	
角田智恵美	臨床・健康教育学系	講師	22. 4. 1～24. 3. 31	
畔上 直樹	人文・社会教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
野地 美幸	人文・社会教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
濤崎 智佳	自然・生活教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
谷 友和	自然・生活教育学系	講師	22. 4. 1～24. 3. 31	
平野 俊介	芸術・体育教育学系	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
松尾 大介	芸術・体育教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
天野 和孝	附属中学校長	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
渡部 良和	総務部長事務取扱	---		
下川 洋司	学務部長	---		

以上14名

法人に置かれる委員会

男女共同参画推進委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
戸北 凱惟	理事	---		委員長
加藤 哲文	臨床・健康教育学系長	---	22. 4. 1～24. 3. 31	
立屋敷かおる	自然・生活教育学系長	---	22. 4. 1～24. 3. 31	
野村眞木夫	教科・領域教育専攻長	---	22. 4. 1～24. 3. 31	
林 泰成	教授	---	22. 4. 1～24. 3. 31	
内藤 美加	教授	---	22. 4. 1～24. 3. 31	
藤本 孝昭	附属中学校副校長	---	22. 4. 1～24. 3. 31	
小出 佳子	附属幼稚園副園長	---	22. 4. 1～24. 3. 31	
大津 輝幸	事務系職員	---	22. 4. 1～24. 3. 31	
秋山由美子	事務系職員	---	22. 4. 1～24. 3. 31	
関 宗興	総務課長	---		
小島 伸之	学長指名	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
瀧本 理恵	学長指名	事務系職員	22. 4. 1～24. 3. 31	

以上13名

法人に置かれる委員会

研究倫理審査委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
下西善三郎	副学長	---		委員長
北條 礼子	人文・社会科学分野	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
梅野 正信	人文・社会科学分野	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
下村 義夫	自然科学分野	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
光永伸一郎	自然科学分野	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
上野 光博	保健管理センター	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
高橋 幸知	学外学識経験者	---	22. 4. 1～24. 3. 31	
増井 晃	学長指名	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	

以上8名

法人に置かれる委員会

研究活動の不正行為対策委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
下西善三郎	副学長	---		委員長
(下西善三郎)	学術研究委員会委員長	---		
布川 和彦	学校教育学系	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
我妻 敏博	臨床・健康教育学系	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
野村眞木夫	人文・社会教育学系	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
中村 雅彦	自然・生活教育学系	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
直原 幹	芸術・体育教育学系	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
高橋 幸知	学外有識者	---	22. 4. 1～24. 3. 31	

以上7名

教授会に置かれる委員会

配分予算検討委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
加藤 雅啓	学校教育実践研究センター長	---		
中山勘次郎	学校臨床研究コース長	---		
五十嵐透子	臨床心理学コース長	---		
鈴木 情一	幼児教育コース長	---		
我妻 敏博	特別支援教育コース長	---		
有澤俊太郎	言語系コース長	---		
浅倉 有子	社会系コース長	---		
高津戸 秀	自然系コース長	---		
西村 俊夫	芸術系コース長	---		
黎 子椰	生活・健康系コース長	---		
西川 純	教育実践リーダーコース長 学校運営リーダーコース長	---		
小林 辰至	連合研究科副研究科長	---		
鉄本 清隆	財務課長	---		
梅野 正信	学長指名	教授	22. 4. 1～23. 3. 31	

以上15名

教授会に置かれる委員会

教務委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
佐藤 芳徳	副学長	---		委員長
大前 敦巳	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	22.4.1～24.3.31	
両角 達男	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	22.4.1～23.3.31	
宮下 敏恵	学校教育専攻 臨床心理学コース	准教授	21.4.1～23.3.31	
丸山 良平	学校教育専攻 幼児教育コース	教授	21.4.1～23.3.31	
笠原 芳隆	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	22.4.1～24.3.31	
石濱 博之	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	21.4.1～23.3.31	
高本 條治	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	22.4.1～24.3.31	
山本 友和	教科・領域教育専攻 社会系コース	教授	22.4.1～23.3.31	
中川 仁	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	21.4.1～23.3.31	
小林 辰至	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	22.4.1～24.3.31	
後藤 丹	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	22.4.1～24.3.31	
洞谷亜里佐	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	21.4.1～23.3.31	
下村 義夫	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	21.4.1～23.3.31	
光永伸一郎	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	21.4.1～23.3.31	
東原 貴志	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	22.4.1～24.3.31	
周東 和好	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	講師	22.4.1～24.3.31	
藤田 武志	教育実践高度化専攻	准教授	22.4.1～24.3.31	
石野 正彦	学校教育実践研究センター	教授	22.4.1～24.3.31	
下川 洋司	学務部長	---		
亀井 宣幸	教育支援課長	---		

以上21名

教授会に置かれる委員会

教育実習委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
松本 健義	学校教育専攻 学校臨床研究コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
佐藤 淳一	学校教育専攻 臨床心理学コース	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
杉浦 英樹	学校教育専攻 幼児教育コース	准教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
土谷 良巳	学校教育専攻 特別支援教育コース	教授	22. 4. 1～23. 3. 31	
押木 秀樹	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
山縣耕太郎	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
稲田 結美	教科・領域教育専攻 自然系コース	講師	22. 4. 1～24. 3. 31	
長谷川正規	教科・領域教育専攻 芸術系コース	講師	21. 4. 1～23. 3. 31	
東原 貴志	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
松本 修	教育実践高度化専攻 教育実践リーダーコース 学校運営リーダーコース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
釜田 聡	学校教育実践研究センター	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	委員長 (～23. 3. 31)
石野 正彦	学校教育実践研究センター	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
伊佐 貢一	学校教育実践研究センター	特任准教授	22. 4. 1～23. 3. 31	
佐藤 佐敏	学校教育実践研究センター	特任准教授	22. 4. 1～23. 3. 31	
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	特任准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
中野 博幸	学校教育実践研究センター	特任准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
清水 雅之	学校教育実践研究センター	特任准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
津野 治彦	学校教育実践研究センター	特任准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
小出 佳子	附属幼稚園副園長	---		
神村 大輔	附属小学校副校長	---		
藤本 孝昭	附属中学校副校長	---		
下川 洋司	学務部長	---		
亀井 宣幸	教育支援課長	---		
齋藤 一雄	学長指名	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	

以上24名

教授会に置かれる委員会

学生委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
朝倉 啓爾	学校教育専攻 学校臨床研究コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
白木みどり	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
井沢功一郎	学校教育専攻 臨床心理学コース	講師	21. 4. 1～23. 3. 31	
鈴木 情一	学校教育専攻 幼児教育コース	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
八島 猛	学校教育専攻 特別支援教育コース	講師	22. 4. 1～24. 3. 31	
平野 絹枝	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
渡部洋一郎	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
下里 俊行	教科・領域教育専攻 社会系コース	教授	22. 4. 1～23. 3. 31	
小川 茂	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	22. 4. 1～23. 3. 31	
宮川 健	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
安部 泰	教科・領域教育専攻 芸術系コース	講師	21. 4. 1～23. 3. 31	
玉村 恭	教科・領域教育専攻 芸術系コース	講師	22. 4. 1～24. 3. 31	
増井 晃	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
黎 子椰	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
清水 富弘	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
吉澤 千夏	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
瀬戸 健	教育実践高度化専攻	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
上野 光博	保健管理センター所長	---		
下川 洋司	学務部長	---		
長津 昭	学生支援課長	---		
川村 知行	学長指名	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	委員長

以上21名

教授会に置かれる委員会

就職委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
五十嵐素子	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
辻村 貴洋	学校教育専攻 学校臨床研究コース	講師	22. 4. 1～24. 3. 31	
高橋 靖子	学校教育専攻 臨床心理学コース	准教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
土谷 良巳	学校教育専攻 特別支援教育コース	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
大場 浩正	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	22. 4. 1～23. 3. 31	
迎 勝彦	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
吉田 昌幸	教科・領域教育専攻 社会系コース	講師	21. 4. 1～23. 3. 31	
溝上 武實	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	22. 4. 1～23. 3. 31	
定本 嘉郎	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
高石 次郎	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
上野 正人	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
得丸 定子	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
清水 富弘	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
廣瀬 裕一	教育実践高度化専攻	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
下川 洋司	学務部長	---		
中島 忍	就職支援室長	---		
藤岡 達也	学長指名	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	委員長

以上17名

教授会に置かれる委員会

入学試験委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
加藤 泰樹	副学長	---		委員長
五百川 裕	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	22. 4. 1～23. 3. 31	
越 良子	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
五十嵐透子	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
香曾我部 琢	学校教育専攻 幼児教育コース	講師	21. 10. 1～23. 3. 31	
藤井 和子	学校教育専攻 特別支援教育コース	講師	22. 4. 1～24. 3. 31	
北條 礼子	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	22. 4. 1～23. 3. 31	
迎 勝彦	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
志村 喬	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
松本 健吾	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
谷 友和	教科・領域教育専攻 自然系コース	講師	22. 4. 1～24. 3. 31	
阿部 靖子	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
上野 正人	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
立屋敷かおる	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
山崎 貞登	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
佐藤 悦子	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
土田 了輔	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
岩崎 浩	教育実践高度化専攻	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
佐藤 芳徳	教務委員会委員長	---		
戸北 凱惟	国際交流推進室長	---		
下川 洋司	学務部長	---		
渡辺 明弘	入試課長	---		
南部 昌敏	学長指名	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
増井 晃	学長指名	教授	22. 4. 14～23. 3. 31	保健管理センター 所長の代理

以上24名

教授会に置かれる委員会

ファカルティ・ディベロップメント委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
佐藤 芳徳	副学長	---		委員長
生澤 繁樹	学校教育専攻 学校臨床研究コース	講師	22. 4. 1～23. 3. 31	
加藤 哲文	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
香曾我部 琢	学校教育専攻 幼児教育コース	講師	22. 4. 1～23. 3. 31	
大庭 重治	学校教育専攻 特別支援教育コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
中里 理子	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	22. 4. 1～23. 3. 31	
赤羽 孝之	教科・領域教育専攻 社会系コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
伊達 文治	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	22. 4. 1～23. 3. 31	
高石 次郎	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
細江 容子	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	22. 4. 1～23. 3. 31	
木村 吉彦	教育実践高度化専攻 教育実践リーダーコース	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
松沢 要一	教育実践高度化専攻 学校運営リーダーコース	准教授	22. 4. 1～23. 3. 31	
下川 洋司	学務部長	---		

以上13名

大学に置かれる委員会

教員免許状更新講習実施委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
佐久間亜紀	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	22.4.1~24.3.31	
橋本 定男	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	22.4.1~24.3.31	
宮下 敏恵	学校教育専攻 臨床心理学コース	准教授	22.4.1~24.3.31	
鈴木 情一	学校教育専攻 幼児教育コース	教授	22.4.1~24.3.31	
河合 康	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	22.4.1~24.3.31	
有澤俊太郎	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	22.4.1~24.3.31	
前川 利広	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	22.4.1~24.3.31	
茨木 智志	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	22.4.1~24.3.31	
高橋 等	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	22.4.1~24.3.31	
濤崎 智佳	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	22.4.1~24.3.31	
阿部 靖子	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	22.4.1~24.3.31	
時得 紀子	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	22.4.1~24.3.31	
山崎 貞登	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	22.4.1~24.3.31	
佐藤ゆかり	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	講師	22.4.1~24.3.31	
周東 和好	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	講師	22.4.1~24.3.31	
角田智恵美	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	講師	22.4.1~24.3.31	
赤坂 真二	教育実践高度化専攻	准教授	22.4.1~24.3.31	
下川 洋司	学務部長	---		
亀井 宣幸	教育支援課長	---		

以上20名

附属施設等に置かれる委員会

附属図書館運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
下西善三郎	附属図書館長	---		委員長
藤岡 達也	学校教育専攻長	---		
野村眞木夫	教科・領域教育専攻長	---		
廣瀬 裕一	教育実践高度化専攻長	---		
貴村 好隆	学術情報課長	---		

以上5名

附属施設等に置かれる委員会

学校教育実践研究センター運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
加藤 雅啓	学校教育実践研究センター長	---		委員長
釜田 聡	学校教育実践研究センター	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
石野 正彦	学校教育実践研究センター	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
伊佐 貢一	学校教育実践研究センター	特任准教授	22. 4. 1～23. 3. 31	
松本 修	学校教育学系	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
高橋 靖子	臨床・健康教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
畔上 直樹	人文・社会教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
中川 仁	自然・生活教育学系	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
洞谷亜里佐	芸術・体育教育学系	准教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
藤本 孝昭	附属中学校副校長	---	21. 4. 1～23. 3. 31	
下川 洋司	学務部長	---		

以上11名

附属施設等に置かれる委員会

保健管理センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
上野 光博	保健管理センター所長	---		委員長
増井 晃	保健管理センター	教授		
川村 知行	学生委員会委員長	---		
五十嵐素子	学校教育専攻	准教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
五十嵐史帆	教科・領域教育専攻	准教授	21. 4. 1～23. 3. 31	
武嶋 俊行	教育実践高度化専攻	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
渡部 良和	総務部長事務取扱	---		
下川 洋司	学務部長	---		
五十嵐透子	学長指名	教授	21. 4. 1～23. 3. 31	

以上9名

附属施設等に置かれる委員会

情報メディア教育支援センター運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
南部 昌敏	情報メディア教育支援センター長	---		委員長
大森 康正	情報メディア教育支援センター	准教授		
井上 久祥	情報メディア教育支援センター	准教授		
石川 真	情報メディア教育支援センター	准教授		
高野 浩志	情報メディア教育支援センター	講師		
奥村 太一	情報セキュリティ管理者 (学校臨床研究コース)	講師		
佐藤 淳一	情報セキュリティ管理者 (臨床心理学コース)	准教授		
杉浦 英樹	情報セキュリティ管理者 (幼児教育コース)	准教授		
藤井 和子	情報セキュリティ管理者 (特別支援教育コース)	講師		
高本 條治	情報セキュリティ管理者 (言語系コース)	准教授		
小島 伸之	情報セキュリティ管理者 (社会系コース)	准教授		
定本 嘉郎	情報セキュリティ管理者 (自然系コース)	准教授		
安部 泰	情報セキュリティ管理者 (芸術系コース)	講師		
(大森 康正)	情報セキュリティ管理者 (生活・健康系コース)	准教授		
水落 芳明	情報セキュリティ管理者 (教育実践リーダーコース・ 学校運営リーダーコース)	准教授		
清水 雅之	情報セキュリティ管理者 (学校教育実践研究センター)	特任准教授		
村中 智彦	情報セキュリティ管理者 (特別支援教育実践研究センター)	講師		
壘 和弘	情報セキュリティ管理者 (附属幼稚園)	教諭		
青木 弘明	情報セキュリティ管理者 (附属小学校)	指導教諭		
松風 嘉男	情報セキュリティ管理者 (附属中学校)	教諭		
貴村 好隆	情報セキュリティ管理者 (学術情報課長)	---		
関 宗興	情報セキュリティ管理者 (総務課長)	---		
亀井 宣幸	情報セキュリティ管理者 (教育支援課長)	---		

以上22名

附属施設等に置かれる委員会

心理教育相談室運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
内田 一成	心理教育相談室長	---		委員長
加藤 哲文	心理教育相談室相談員	教授		
五十嵐透子	心理教育相談室相談員	教授		
宮下 敏恵	心理教育相談室相談員	准教授		
佐藤 淳一	心理教育相談室相談員	准教授		
高橋 靖子	心理教育相談室相談員	准教授		
上野 光博	保健管理センター所長	---		
齋藤 一雄	特別支援教育実践研究センター	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
下川 洋司	学務部長	---		

以上9名

附属施設等に置かれる委員会

特別支援教育実践研究センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
齋藤 一雄	特別支援教育実践研究センター長	---		委員長
土谷 良巳	特別支援教育実践研究センター	教授		
村中 智彦	特別支援教育実践研究センター	講師		
我妻 敏博	学校教育専攻 特別支援教育コース	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
内田 一成	心理教育相談室	教授	22. 4. 1～24. 3. 31	
下川 洋司	学務部長	---		

以上6名

附属施設等に置かれる委員会

附属学校運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
佐藤 芳徳	副学長	---		委員長
藤岡 達也	学校教育専攻長	---		
野村眞木夫	教科・領域教育専攻長	---		
廣瀬 裕一	教育実践高度化専攻長	---		
丸山 良平	附属幼稚園長	---		
林 泰成	附属小学校長	---		
天野 和孝	附属中学校長	---		
小出 佳子	附属幼稚園副園長	---		
神村 大輔	附属小学校副校長	---		
藤本 孝昭	附属中学校副校長	---		
渡部 良和	事務局長	---		

以上11名

運営の基本組織として置かれる委員会

連合大学院委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考	氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考
若井 彌一	学長	---	委員長	林 泰成	先端課題実践開発連合講座	教授	
加藤 泰樹	副学長	---		松本 修	先端課題実践開発連合講座	教授	
川崎 直哉	副学長	---		丸山 良平	先端課題実践開発連合講座	教授	
佐藤 芳徳	副学長	---		木村 吉彦	先端課題実践開発連合講座	准教授	
下西善三郎	副学長	---		久保田善彦	先端課題実践開発連合講座	准教授	
梅野 正信	学校教育方法連合講座	教授		藤田 武志	先端課題実践開発連合講座	准教授	
内藤 美加	学校教育方法連合講座	教授		水落 芳明	先端課題実践開発連合講座	准教授	
中山勘次郎	学校教育方法連合講座	教授		有澤俊太郎	言語系教育連合講座	教授	
南部 昌敏	学校教育方法連合講座	教授		小埜 裕二	言語系教育連合講座	教授	
増井 三夫	学校教育方法連合講座	教授		加藤 雅啓	言語系教育連合講座	教授	
安藤 知子	学校教育方法連合講座	准教授		野村眞木夫	言語系教育連合講座	教授	
越 良子	学校教育方法連合講座	准教授		平野 絹枝	言語系教育連合講座	教授	
角谷 詩織	学校教育方法連合講座	准教授		北條 礼子	言語系教育連合講座	教授	
我妻 敏博	学校教育臨床連合講座	教授		前川 利広	言語系教育連合講座	教授	
五十嵐透子	学校教育臨床連合講座	教授		大場 浩正	言語系教育連合講座	准教授	
内田 一成	学校教育臨床連合講座	教授		押木 秀樹	言語系教育連合講座	准教授	
大庭 重治	学校教育臨床連合講座	教授		赤羽 孝之	社会系教育連合講座	教授	
加藤 哲文	学校教育臨床連合講座	教授		浅倉 有子	社会系教育連合講座	教授	
齋藤 一雄	学校教育臨床連合講座	教授		下里 俊行	社会系教育連合講座	教授	
河合 康	学校教育臨床連合講座	准教授		山本 友和	社会系教育連合講座	教授	
葉石 光一	学校教育臨床連合講座	准教授		茨木 智志	社会系教育連合講座	准教授	
宮下 敏恵	学校教育臨床連合講座	准教授		志村 喬	社会系教育連合講座	准教授	
村中 智彦	学校教育臨床連合講座	講師		山縣耕太郎	社会系教育連合講座	准教授	
鈴木 情一	先端課題実践開発連合講座	教授		天野 和孝	自然系教育連合講座	教授	
西川 純	先端課題実践開発連合講座	教授		小林 辰至	自然系教育連合講座	教授	

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考
高津戸 秀	自然系教育連合講座	教授	
中川 仁	自然系教育連合講座	教授	
中村 雅彦	自然系教育連合講座	教授	
藤岡 達也	自然系教育連合講座	教授	
松本 健吾	自然系教育連合講座	教授	
溝上 武實	自然系教育連合講座	教授	
小川 茂	自然系教育連合講座	准教授	
川村 知行	芸術系教育連合講座	教授	
後藤 丹	芸術系教育連合講座	教授	
高石 次郎	芸術系教育連合講座	教授	
西村 俊夫	芸術系教育連合講座	教授	
平野 俊介	芸術系教育連合講座	教授	
松本 健義	芸術系教育連合講座	教授	
市川 真澄	生活・健康系教育連合講座	教授	
伊藤 政展	生活・健康系教育連合講座	教授	
下村 義夫	生活・健康系教育連合講座	教授	
立屋敷かおる	生活・健康系教育連合講座	教授	
得丸 定子	生活・健康系教育連合講座	教授	
山崎 貞登	生活・健康系教育連合講座	教授	
黎 子椰	生活・健康系教育連合講座	教授	
清水 富弘	生活・健康系教育連合講座	准教授	

以上71名

一般通報事項

○役員会

■第56回役員会

期 日 平成22年3月12日（金）

議 題

- 1 平成22年度年度計画
- 2 平成22年度学内予算
- 3 平成21年度決算剰余金に係る第2期中期目標期間への繰越申請
- 4 会計規則等の一部改正
- 5 附属学校教員給与の改定
- 6 労働時間規程等の一部改正
- 7 上越教育大学男女共同参画宣言
- 8 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画

■第57回役員会

期 日 平成22年4月14日（水）

議 題

- 1 平成22年度会計監査人候補者の選定

○経営協議会

■第26回経営協議会

期 日 平成22年3月11日（木）

議 題

- 1 平成22年度年度計画（経営に関する部分）
- 2 平成22年度学内予算
- 3 平成21年度決算剰余金に係る第2期中期目標期間への繰越申請
- 4 会計規則等の一部改正
- 5 附属学校教員給与の改定
- 6 労働時間規程等の一部改正
- 7 環境方針
- 8 平成21年度本学評価基準に関する自己点検・評価結果（経営に関する部分）
- 9 平成22年度における学内自己点検・評価実施計画

○教育研究評議会

■第92回教育研究評議会

期 日 平成22年3月10日（水）

議 題

- 1 学則の一部改正
- 2 平成22年度年度計画（経営に関する部分を除く。）
- 3 平成21年度本学評価基準に関する自己点検・評価結果（経営に関する部分を除く。）
- 4 国立大学法人上越教育大学自己点検・評価規則の一部改正
- 5 平成22年度における学内自己点検・評価実施計画
- 6 上越教育大学大学院学校教育研究科専門職学位課程評価基準等の制定
- 7 教員人事
- 8 教育研究評議会及び教授会に置かれる委員会委員の委嘱
- 9 上越教育大学男女共同参画宣言
- 10 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画
- 11 共同研究の受入れ
- 12 受託研究の受入れ
- 13 環境方針
- 14 平成22年度施設利用計画
- 15 その他

■第93回教育研究評議会

期 日 平成22年3月22日（月・祝）

議 題

- 1 今後の大学体制の在り方
- 2 教員人事

■第94回教育研究評議会

期 日 平成22年4月14日（水）

議 題

- 1 学長選考会議委員及び同予備委員の選出
- 2 教育研究評議会及び教授会に置かれる委員会委員の委嘱

○教授会

■第104回教授会

期 日 平成22年3月8日（月）

議 題

- 1 平成22年度学部一般入試（前期日程）合格者の判定

- 2 学籍異動
- 3 平成21年度学部卒業判定
- 4 平成21年度大学院修了判定

■第105回教授会

期 日 平成22年 3 月17日（水）

議 題

- 1 平成22年度大学院入試（後期募集）合格者の判定
- 2 平成22年度教育職員免許取得プログラム受講者の判定
- 3 学籍異動
- 4 その他

■第106回教授会

期 日 平成22年 3 月22日（月・祝）

議 題

- 1 平成22年度学部一般入試（後期日程）合格者の判定
- 2 平成22年度学部一般入試（後期日程）追加合格者の決定
- 3 平成22年度欠員補充第2次学生募集に係る合格者の判定
- 4 今後の大学体制の在り方

■第107回教授会

期 日 平成22年 4 月28日（水）

議 題

- 1 学籍異動
- 2 教員人事
- 3 名誉教授の推薦

○ファカルティ・ディベロップメント研修会

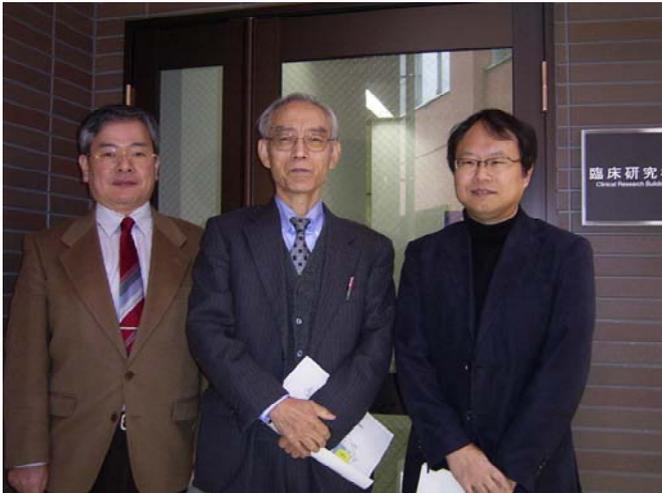
本学の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るため、ファカルティ・ディベロップメント研修会を3月2日(火)に実施した。

大学評価委員会ファカルティ・ディベロップメント専門部会による平成21年度の活動等の報告及びFDの今後の在り方についての意見交換の後、『授業の方法・内容』をテーマに授業実践例の紹介・パネルディスカッションが行われた。



○臨床研究棟オープニング見学会

臨床研究棟の竣工に伴い、若井学長、戸北理事をはじめ多数の役職員が出席し、3月29日（月）に同棟のオープニングセレモニー及び見学会を実施した。



臨床研究棟玄関前で

（左から）中山教授，若井学長，布川教授

○退職者永年勤続表彰状授与式

平成22年3月31日付け本学退職者のうち勤続期間が30年以上であって、当該勤続期間のうち本法人在職期間が15年以上である者を対象に、退職者永年勤続表彰状授与式を実施し、表彰状を授与するとともに、記念品を贈呈した。

被表彰者： 森 博 教授（自然・生活教育学系）

期 日： 平成22年3月23日（火）

場 所： 大会議室

○公開講座・免許法認定公開講座

平成22年度に実施する公開講座等は次のとおりである。

(※を付した講座については、公開講座に併せて、免許法認定公開講座として実施するものである。)

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
日本画制作の入門	今回は対象物をよく観察し、写生したものをもとに日本画制作を行います。日本画独特の膠、水干絵の具、岩絵の具の基本的な扱い方とその技法を用いていろいろな表現を展開していきます。	洞谷 亜里佐 准教授	4月10日(土) 4月24日(土) 5月8日(土) 5月22日(土) 6月5日(土) 計5回	9:30) 12:30 計15時間	本学 (山屋敷町) 美術棟2階 造形演習室	初級 市民一般から 中学生 15人 最小実施 人数5人
はじめての短歌－実作短歌入門	短歌は、万葉集以来、日本人に最も親しまれてきた詩形ですが、いざ作るとなると「難しそう」と感じる人も多いと思います。でも、そんなことはありません。講座では、初回到歌作りの基本的な考え方をお話しした後、2回目からは各自が作品を持ち寄り、相互に批評しあうことによって、歌作りの勘どころを学んでいきます。短歌を通じ自己表現の手法を学べば、他の文学作品を鑑賞する上でもきっと新しい視界が開かれることでしょう。	松田 慎也 教授	5月7日(金) 5月14日(金) 5月21日(金) 5月28日(金) 6月4日(金) 6月11日(金) 6月18日(金) 6月25日(金) 7月2日(金) 7月9日(金) 計10回	19:00) 20:30 計15時間	本学 (山屋敷町)	初級 市民一般 10人 最小実施 人数2人
体操教室I (山屋敷体操教室小学生)	小学生を対象として、マット、とび箱、鉄棒、平均台、トランポリンなどの器械運動を中心に行う体操教室です。	周東 和好 講師	5月29日(土) 6月5日(土) 6月12日(土) 6月19日(土) 7月3日(土) 7月10日(土) 計6回	14:00) 16:00 計12時間	本学 (山屋敷町) トレーニング室(体育館2階)	小学生 1～6年生 20人 最小実施 人数1人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
特別な支援を必要とする子の指導・支援計画 ※	特別支援教育推進の現状や、特別な教育的ニーズに対応するカリキュラムである「自立活動」の考え方について概説し、対象者の実態把握の方法、個別の指導計画作成の手続き等について細述します。その上で、受講者ご自身に学級等で担当されているお子さんを対象とした簡便な個別の指導計画を実際に作成していただき、その授業（活動）への生かし方と評価の方法について考究します。個別の教育支援計画を通した機関連携のあり方等についてもふれます。	笠原 芳隆 准教授 藤井 和子 講師	5月29日（土） 6月12日（土） 6月19日（土） 計3回	10:00 ） 16:00 (昼食休憩 1時間) 計15時間	本学 (山屋敷町) 特別支援教育実践研究センター	現職教員（幼・小・中・高・特支）・保育士・施設職員等で特別な支援を必要とする子の指導・支援に関心のある方 20人
版を作って絵画を制作しよう	版画といえば木版や芋版等がなじみ深いですが、版の形式から凸版画、凹版画、平版画、孔版画の4つに分類できます。今回は、版の基礎的な技術から始まり解釈を広げられるよう、木版画、紙版画、芋版画、銅版画、ドライポイントや石膏キャストイング等に取り組みます。1回目は版についての講義と色々な版作りをします。2回目は作った版で作品を作ります。	五十嵐 史帆 准教授 洞谷 亜里佐 准教授 松尾 大介 准教授 安部 泰 講師	6月12日（土） 6月13日（日） 計2回	10:00 ） 16:00 (昼食休憩1時間) 計10時間	本学 (山屋敷町) 美術棟2階版画室	初級 中学生・高校生 10人 最小実施 人数3人
陶芸—磁器素焼皿に染付（絵付け）をする	素焼された磁器のお皿に呉須（絵具）で絵付けをし、釉薬を掛けて焼成する。	高石 次郎 教授	6月20日（日） 6月27日（日） 7月4日（日） 7月18日（日） 計4回	13:00 ） 16:00 計12時間	本学 (山屋敷町) 美術棟1階陶芸室	中級 市民一般 15人 最小実施 人数5人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
少年少女スポーツ教室Ⅰ (山屋敷サッカークラブ低学年)	小学校3年生以下の子どものためのサッカー教室です。マット、鉄棒、跳び箱、縄跳び、エクササイズボールなどを用いて様々なスポーツの基礎となる「動きづくり」を行います。また、ボールを扱うテクニックの練習や試合を行います。	榊原 潔 准教授	7月25日(日) 7月27日(火) 7月29日(木) 7月30日(金) 8月2日(月) 8月3日(火) 8月4日(水) 計7回	9:00) 11:00 計14時間	本学 (山屋敷町)	初級 小学生 15人 最小実施 人数6人
応用行動分析で授業が変わる、学校が変わる ※	近年、特別支援教育を中心に、応用行動分析に基づく教育実践の成果が注目を集めています。本講座では、応用行動分析の理論に基づく授業改善、学級づくり、学校コンサルテーションについて、講義及び演習を行う。講義では、知的障害・自閉症、発達障害児を対象とした臨床・学校場面での実践について、映像データを活用し話題提供する。また、実際の小中、特別支援学校での実践報告を多く取り入れる。	加藤 哲文 教授 村中 智彦 講師	8月9日(月) 8月10日(火) 8月11日(水) 計3回	10:00) 16:00 (昼食休憩1時間) 計15時間	埼玉県さいたま市大宮区宮町1丁目-15 松屋ビル6階 上越教育大学大宮サテライト	初級 小中高、特別支援学校 教員 20人 最小実施 人数5人
ピアノ入門	各受講者が自分のレベルに合った楽曲に取り組みピアノに親しんでもらう。	平野 俊介 教授	8月4日(水) 8月11日(水) 8月25日(水) 9月1日(水) 9月8日(水) 9月22日(水) 9月29日(水) 計7回 (8月18日(水)と9月15日(水)を除く)	17:30) 19:30 計14時間	本学 (山屋敷町)	初級 入門から初級・中級程度まで 市民一般 5人 最小実施 人数1人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
「小学校外国語活動」進め方入門	『だれでもできる』『ためになる』『楽しい』小学校外国語活動の授業づくりをねらいとします。その内容は、理論編と実践編を組み合わせた内容です。具体的に、学習指導要領に基づく外国語活動のねらいや意義、カリキュラムデザイン、授業の枠組みの作り方、ゲームの活動、歌の活動、教材・教具、授業展開事例、評価の考え方と方法、教室英語などの概要を提供いたします。	石濱 博之 准教授	8月25日(水) 8月26日(木) 計2回	10:00 } 16:00 (昼食休憩1時間) 計10時間	本学 (山屋敷町)	現職教員 市民一般 15人
数の不思議	不規則に現れる素数にかかわる様々な問題について、電卓等を用いた計算を通して理解を深め、数の不思議さを体験する。	中川 仁 教授	9月1日(水) 9月8日(水) 9月15日(水) 9月22日(水) 9月29日(水) 計5回	19:00 } 21:00 計10時間	本学 (山屋敷町)	初級 市民一般 20人 最小実施 人数2人
日本画制作の初級	日本画制作は写生が基本になっています。写生から自分の表現の世界を広げる技法として、独特な素材である金箔・銀箔を用いて装飾性を展開していきます。	洞谷 亜里佐 准教授	9月4日(土) 9月11日(土) 10月2日(土) 10月23日(土) 11月13日(土) 計5回	9:30 } 12:30 計15時間	本学 (山屋敷町) 美術棟2階 造形演習室	初級 市民一般から 中学生 15人 最小実施 人数5人
英語指導と協同学習	英語コミュニケーション能力の育成を目指した英語指導において用いられる、ペア・ワークやグループ・ワークを効果的にするための協同学習の手法を紹介し、実際の活動例を考え、実践してみる。	大場 浩正 准教授	9月29日(水) 10月6日(水) 10月13日(水) 10月20日(水) 10月27日(水) 計5回	19:00 } 21:00 計10時間	本学 (山屋敷町)	入門 市民一般・ 現職教員 20人 最小実施 人数12人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
遺伝子DNAを探る	「DNA」という言葉を耳にすることが多くなっていませんか？われわれ人間を含め生物の形や性質を決めている遺伝子DNAについて、形や働き、親から子へ伝わる仕組み、現代社会における利用（DNA鑑定、PCR検査等）を簡単な実験や、身近な事例紹介によって平易に解説します。	五百川 裕 准教授	10月12日（火） 10月19日（火） 10月26日（火） 11月2日（火） 11月9日（火） 11月16日（火） 計6回	17:30 } 19:30 計12時間	本学 （山屋敷町） 自然棟4階 植物分類系 統実験室	初級 市民一般 5人 最小実施 人数3人
体操教室Ⅱ （山屋敷体操 教室小学生）	小学生を対象として、マット、とび箱、鉄棒、平均台、トランポリンなどの器械運動を中心に行う体操教室です。	周東 和好 講師	10月23日（土） 11月3日（水・祝） 11月6日（土） 11月13日（土） 11月20日（土） 11月23日（火・祝） 計6回	14:00 } 16:00 計12時間	本学 （山屋敷町） トレーニング 室（体育 館2階）	小学生 1～6年生 20人 最小実施 人数1人
理科野外観察 指導実習A ※	実習の場を林と池とし、食物連鎖の観点から林と池に生息する多種多様な生物とその相互関係を観察し、食物連鎖の野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とする。	中村 雅彦 教授	8月7日（土） 8月8日（日） 計2回	9:00 } 17:00 計15時間	本学 （山屋敷町）	初級・中級 市民一般 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習B ※	実習の場を森とし、森に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、森における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とする。	中村 雅彦 教授	9月7日（火） 9月8日（水） 計2回	9:00 } 17:00 計15時間	志賀高原	初級・中級 市民一般 現職教員 10人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
理科野外観察 指導実習C ※	実習の場を川とし、川に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、川における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とする。	中村 雅彦 教授	8月19日(木) 8月20日(金) 計2回	9:00 ~ 17:00 計15時間	正善寺川	初級・中級 市民一般 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習D ※	池や沼などでみられる浮遊生物(プランクトン)についてそのサンプリング方法や観察法について実習を通して指導する。走査電子顕微鏡、蛍光顕微鏡等を実際に操作しながらプランクトンの生きた姿と微細形態の観察・撮影を行う。	小川 茂 准教授	8月30日(月) 8月31日(火) 計2回	9:00 ~ 17:00 計15時間	本学 (山屋敷町)	初級・中級 市民一般 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習E ※	身近に生育する植物の分類、形態、生態についての観察指導のポイントを、校庭や路傍、畑地や空き地、雑木林や杉林を観察場所とした実習を通して学ぶ。名前を知らなくとも植物の野外観察はできることを体験し、野外観察指導実践を阻むバリアーの低減をめざす。	谷 友和 講師	8月23日(月) 8月24日(火) 計2回	9:00 ~ 17:00 計15時間	本学 (山屋敷町)	初級・中級 市民一般 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習F ※	初等中等教育では野外での地層観察や化石採集が求められている。本実習では地層観察方法や化石採集方法を実習し、採集された化石などから地質時代や古環境を検討する。	天野 和孝 教授	8月9日(月) 8月10日(火) 計2回	9:00 ~ 17:00 計15時間	上越市平山 ~中ノ俣 上越市谷浜 ~大淵	初級・中級 市民一般 現職教員 10人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
理科野外観察 指導実習G ※	大地の変動の観点から変成作用による地殻変動や火成活動の野外観察をおこなう。いろいろな岩石を観察することにより野外観察を指導するための基礎を習得させる。また火山災害についての安全対策を現地で実際に学ぶ。	大場 孝信 准教授	8月25日(水) 8月26日(木) 計2回	9:00 } 17:00 計15時間	妙高・糸魚川	初級・中級 市民一般 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習H ※	1泊2日の日程で気象観測実習を行う。小・中学校のカリキュラムに出てくる、太陽の日周運動、気温と湿度の日変化、雲形・雲量、海風循環等の現象を対象とした独自の観測結果をインターネット上に公開される気象情報と比較しながら、現象の理解や説明の方法等を習得させる。	中川 清隆 (立正大学教授)	6月5日(土) 6月6日(日) 計2回	9:00 } 17:00 計15時間	本学 (山屋敷町)	初級・中級 市民一般 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習I ※	1泊2日の日程で暖候季の星の観測実習を実施する。小学校4年理科および中学校理科第2分野の天文単元に出てくる、太陽、月、星座の日周運動および星の観測の指導に適した季節、場所、方法等について、実際に観測しながら体得させる。	濤崎 智佳 准教授	10月10日(日) 10月11日(月・祝) 計2回	9:00 } 17:00 計15時間	星のふるさと館 (清里区)	初級・中級 市民一般 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習J ※	身近な自然に見られる野草等の植物の生活史を、植物相互の関わり、昆虫との関わり、光・温度・水・土等の物理・化学的環境要因との関わり等の視点で総合的に理解するための観察能力を、講義と実習を通して修得する。さらに、比較や分類等を通してプロセス・スキルズについても実習を通して学ぶ。	中村 雅彦 教授 谷 友和 講師	5月15日(土) 5月16日(日) 計2回	9:00 } 17:00 計15時間	本学 (山屋敷町)	初級・中級 市民一般 現職教員 10人

○海外渡航

	職名	氏名	渡航目的国	用務	期間	備考
1	教授	瀬戸 健	韓国	小学校1年生の入学時指導調査	平成22年3月2日～ 平成22年3月4日	外国出張
2	教授	釜田 聡	韓国	科学研究費の研究推進のための打合せ	平成22年3月6日～ 平成22年3月8日	外国出張
3	准教授	大場 浩正	アメリカ	アメリカ応用言語学会(AAAL)における研究発表	平成22年3月6日～ 平成22年3月10日	外国出張
4	教授	平野 絹枝	イギリス	リカスター大学言語学習教育学会参加及び応用言語学(小学校英語含む)の資料収集	平成22年3月13日～ 平成22年3月31日	外国出張
5	准教授	木村 吉彦	フィンランド	6年制教育養成調査	平成22年3月14日～ 平成22年3月21日	外国出張
6	教授	瀬戸 健	フィンランド	6年制教育養成調査	平成22年3月14日～ 平成22年3月21日	外国出張
7	准教授	土田 了輔	アメリカ	AAHPERD NATIONAL CONVENTION & EXPO 2010参加・発表のため	平成22年3月16日～ 平成22年3月21日	外国出張
8	研究連携室長	後藤 公夫	中国	留学生受入れに関する学生への説明及び関係者との打合せ	平成22年3月16日～ 平成22年3月25日	外国出張
9	准教授	原 瑞穂	中国	留学生受入れに関する学生への説明及び関係者との打合せ	平成22年3月16日～ 平成22年3月25日	外国出張
10	教授	黎 子椰	中国	留学生受入れに関する学生への説明及び関係者との打合せ	平成22年3月16日～ 平成22年3月25日	外国出張
11	教授	五十嵐 透子	アメリカ	アメリカ・カウンセリング協会:学会参加、アイワ大学訪問、統合化教育校訪問	平成22年3月17日～ 平成22年3月29日	外国出張
12	准教授	田島 弘司	インド	ガンディーの平和教育にかかわる資料及び笑い功にかかわる情報の収集	平成22年3月24日～ 平成22年3月31日	外国出張
13	教授	下里 俊行	ウズベキスタン	ウズベキスタンの古代・中世史跡の調査	平成22年3月26日～ 平成22年4月2日	海外研修
14	准教授	洞谷 亜里佐	台湾	大学授業(絵画実習)見学	平成22年3月29日～ 平成22年4月3日	外国出張
15	教授	北條 礼子	台湾	小学校英語授業参観ならびに資料の収集	平成22年3月29日～ 平成22年4月3日	外国出張
16	教授	得丸 定子	アメリカ	第8回医療者,研究者,教育者のための科学総会に参加及び情報収集	平成22年3月29日～ 平成22年4月12日	外国出張
17	教授	小林 恵	イギリス	サバティカル制度を利用して,語学の研鑽に努めつつ,イギリスの社会と教育を考察する。	平成22年3月31日～ 平成22年9月23日	海外研修
18	教授	林 泰成	韓国	授業科目「海外教育(特別)研究C」の引率	平成22年4月27日～ 平成22年5月7日	外国出張
19	国際交流チーム主査	青山 博之	韓国	授業科目「海外教育(特別)研究C」の引率	平成22年4月27日～ 平成22年5月7日	外国出張
20	教授	川村 知行	韓国	日韓文化比較資料の収集	平成22年4月28日～ 平成22年5月6日	外国出張

平成22年度上越教育大学学校教育学部入学試験の状況

()内は女子で内数

区分	推薦入試 (募集人員 50人)				一般入試 (募集人員 110人)				私費外国人留学生特別入試 (募集人員 若干名)				計 (募集人員 160人)			
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者
北海道																
青森県					1								1			
岩手県					1	1	1	1					1	1	1	1
宮城県																
秋田県	(5) 5	(5) 5	(3) 3	(3) 3	(1) 2		1	1					(6) 7	(5) 6	(3) 4	(3) 4
山形県	(2) 2	(2) 2	(1) 1	(1) 1	(5) 8	(2) 3	(1) 2	(1) 2					(7) 10	(4) 5	(2) 3	(2) 3
福島県	(5) 8	(5) 8	(3) 5	(3) 5	(14) 17	(7) 7	(3) 3	(3) 3					(19) 25	(12) 15	(6) 8	(6) 8
茨城県					(1) 2								(1) 2			
栃木県	(4) 6	(3) 5	(3) 4	(3) 4	(8) 16	(4) 10	(3) 8	(3) 8					(12) 22	(7) 15	(6) 12	(6) 12
群馬県	(3) 5	(3) 5	(1) 2	(1) 2	(18) 36	(9) 20	(4) 11	(4) 11					(21) 41	(12) 25	(5) 13	(5) 13
埼玉県	1	1			(4) 7	(3) 4	(1) 2	1					(4) 8	(3) 5	(1) 2	1
千葉県					(2) 6		2	1	1				(2) 6		2	1
東京都	(1) 1	(1) 1			(1) 2	(1) 1							(2) 3	(2) 2		
神奈川県	(1) 1	(1) 1			2	1	1	1					(1) 3	(1) 2	1	1
新潟県	(35) 53	(34) 52	(8) 16	(8) 16	(152) 244	(99) 150	(21) 35	(16) 30					(187) 297	(133) 202	(29) 51	(24) 46
富山県	(6) 8	(6) 8	(2) 2	(2) 2	(26) 38	(14) 20	(6) 10	(5) 8					(32) 46	(20) 28	(8) 12	(7) 10
石川県	(8) 11	(8) 11	(1) 2	(1) 2	(18) 35	(12) 22	(4) 10	(4) 10					(26) 46	(20) 33	(5) 12	(5) 12
福井県	(6) 10	(6) 10	(2) 4	(2) 4	(18) 25	(8) 12	(2) 4	(2) 4					(24) 35	(14) 22	(4) 8	(4) 8
山梨県	(1) 1	(1) 1			(3) 8	(1) 3	2	2					(4) 9	(2) 4	2	2
長野県	(10) 19	(10) 19	(3) 5	(3) 5	(41) 88	(30) 61	(12) 22	(11) 21					(51) 107	(40) 80	(15) 27	(14) 26
岐阜県	(1) 4	(1) 3	1	1	(2) 4	(2) 2							(3) 8	(3) 5	1	1
静岡県	(2) 3	(2) 3	1	1	(5) 13	(3) 6	(1) 2	(1) 2					(7) 16	(5) 9	(1) 3	(1) 3
愛知県	(2) 4	(2) 4	(1) 3	(1) 3	(13) 38	(8) 25	(4) 16	(4) 16					(15) 42	(10) 29	(5) 19	(5) 19
三重県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	1								(1) 2	(1) 1	(1) 1	(1) 1
滋賀県	(1) 1	(1) 1			2	2							(1) 3	(1) 3		
京都府					(2) 5	1	1	1					(2) 5	1	1	1
大阪府																
兵庫県	1				(1) 2	(1) 2							(1) 3	(1) 2		
奈良県	1	1											1	1		
和歌山県																
鳥取県	1	1											1	1		
島根県	(1) 1	(1) 1											(1) 1	(1) 1		
岡山県					(1) 2	(1) 1	(1) 1	(1) 1					(1) 2	(1) 1	(1) 1	(1) 1
広島県																
山口県																
徳島県	(1) 2	(1) 2			(1) 2	(1) 2							(2) 4	(2) 4		
香川県																
愛媛県																
高知県																
福岡県																
佐賀県																
長崎県	1												1			
熊本県																
大分県																
宮崎県	1	1											1	1		
鹿児島県																
沖縄県	1												1			
その他					2	1							2	1		
計	(96) 153	(94) 147	(29) 50	(29) 50	(337) 609	(206) 360	(63) 133	(55) 124					(433) 762	(300) 507	(92) 183	(84) 174
		応募者/合格者 3.1倍	男 42.0% 女 58.0%			応募者/合格者 4.6倍	男 55.7% 女 44.3%						応募者/合格者 4.2倍	男 51.7% 女 48.3%		

その他は、大学入学資格検定

○平成22年度 大学院学校教育研究科入学者選抜試験状況

■ 専攻・コース別

課程	専攻・コース	前期募集 (試験日:21.8.29)					中期募集 (試験日:21.11.28)					後期募集 (試験日:22.3.5)					合計				
		募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	入学定員	応募者	受験者	合格者	入学者
修士課程	学校教育専攻	96	(20) 105	(20) 105	(20) 97	(20) 73	31	(4) 45	(3) 41	(3) 33	(3) 30	25	(1) 29	(1) 22	(1) 12	(1) 10	120	(25) 179	(24) 168	(24) 142	(23) 113
	学校臨床研究コース	54	(12) 49	(12) 49	(12) 47	(12) 37	23	(2) 26	(2) 25	(2) 21	(2) 19	15	(1) 17	(1) 13	(1) 6	(1) 5	[70]	(14) 92	(14) 87	(14) 74	(14) 61
	臨床心理学コース	18	(3) 29	(3) 29	(3) 23	(3) 14	若干人	(1) 6	(1) 6	(1) 3	(1) 3	5	(1) 7	(1) 5	(1) 3	(1) 2	[18]	(5) 42	(5) 40	(5) 29	(4) 19
	幼児教育コース	5	5	5	5	3	2	1	1	1	1	5					[7]	6	6	6	4
	特別支援教育コース	19	(5) 22	(5) 22	(5) 22	(5) 19	6	(1) 12	(1) 9	(1) 8	(1) 7	若干人	5	4	3	3	[25]	(6) 39	(5) 35	(5) 33	(5) 29
	教科・領域教育専攻	104	(9) 65	(9) 64	(9) 62	(9) 53	68	66	62	58	50	41	(2) 29	(2) 25	(2) 24	(2) 24	130	(11) 160	(11) 151	(11) 144	(11) 127
	言語系コース	20	(4) 16	(4) 16	(4) 16	(4) 11	9	19	19	16	13	5	6	6	5	5	[25]	(4) 41	(4) 41	(4) 37	(4) 29
	社会系コース	18	(1) 10	(1) 10	(1) 10	(1) 8	13	12	11	10	8	9	6	5	5	5	[23]	(1) 28	(1) 26	(1) 25	(1) 21
	自然系コース	22	11	11	10	8	17	14	13	13	12	10	5	5	5	5	[27]	30	29	28	25
	芸術系コース	22	(1) 6	(1) 5	(1) 5	(1) 5	22	8	7	7	6	17	(1) 3	(1) 3	(1) 3	(1) 3	[27]	(2) 17	(2) 15	(2) 15	(2) 14
	生活・健康系コース	22	(3) 22	(3) 22	(3) 21	(3) 21	7	13	12	12	11	若干人	(1) 9	(1) 6	(1) 6	(1) 6	[28]	(4) 44	(4) 40	(4) 39	(4) 38
	小計	200	(29) 170	(29) 169	(29) 159	(29) 126	99	(4) 111	(3) 103	(3) 91	(3) 80	66	(3) 58	(3) 47	(3) 36	(2) 34	250	(36) 339	(35) 319	(35) 286	(34) 240
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	44	(21) 37	(21) 37	(21) 37	(20) 32	21	(21) 32	(21) 32	(21) 31	(21) 28	5	3	3	3	2	50	(42) 72	(42) 72	(42) 71	(41) 62
	教育実践リーダーコース	24	(16) 32	(16) 32	(16) 32	(15) 27	6	(8) 19	(8) 19	(8) 18	(8) 15	若干人	3	3	3	2	[30]	(24) 54	(24) 54	(24) 53	(23) 44
	学校運営リーダーコース	20	(5) 5	(5) 5	(5) 5	(5) 5	15	(13) 13	(13) 13	(13) 13	(13) 13	5					[20]	(18) 18	(18) 18	(18) 18	(18) 18
	小計	44	(21) 37	(21) 37	(21) 37	(20) 32	21	(21) 32	(21) 32	(21) 31	(21) 28	5	3	3	3	2	50	(42) 72	(42) 72	(42) 71	(41) 62
合計	244	(50) 207	(50) 206	(50) 196	(49) 158	120	(25) 143	(24) 135	(24) 122	(24) 108	71	(3) 61	(3) 50	(3) 39	(2) 36	300	(78) 411	(77) 391	(77) 357	(75) 302	

※1 入学定員欄の[]内は、標準学生数を示す。

2 ()内は、現職教員で3年以上の教職経験者数を示し内数である。

3 応募者数は、専攻・コースごとに原則として第1志望の人数を計上しているが、第2志望での合格者は合格した専攻・コースへの応募者として計上している。

■ 都道府県別

区分	前期募集				中期募集				後期募集				合計			
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者
北海道	4	4	4	4	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2					(1) 6	(1) 6	(1) 6	(1) 6
青森県	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 1					(2) 4	(2) 4	(2) 4	(2) 3
岩手県	(1) 8	(1) 8	(1) 8	(1) 7	3	3	3	2					(1) 11	(1) 11	(1) 11	(1) 9
宮城県	5	5	5	3	4	3	3	3					9	8	8	6
秋田県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1					1				(1) 2	(1) 1	(1) 1	(1) 1
山形県	2	2	2	1	4	3	3	2					6	5	5	3
福島県	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2	3	3	3	2					(1) 5	(1) 5	(1) 5	(1) 4
茨城県	4	4	4	1	4	4	3	3	(1) 2	(1) 2	(1) 1	(1) 1	(1) 10	(1) 10	(1) 8	(1) 5
栃木県	1	1	1	1									1	1	1	1
群馬県	2	2	2	2	(4) 6	(4) 6	(4) 6	(4) 5	(1) 1	(1) 1	(1) 1	1	(5) 9	(5) 9	(5) 9	(4) 8
埼玉県	(1) 16	(1) 15	(1) 15	(1) 14	7	7	7	6	4	3	3	3	(1) 27	(1) 25	(1) 25	(1) 23
千葉県	(1) 7	(1) 7	(1) 4	(1) 4	2	1	1	1	1				(1) 10	(1) 8	(1) 5	(1) 5
東京都	(2) 38	(2) 38	(2) 35	(1) 26	33	32	23	18	11	10	8	7	(2) 82	(2) 80	(2) 66	(1) 51
神奈川県	6	6	6	1	7	6	6	5	3	2	2	1	16	14	14	7
新潟県	(29) 51	(29) 51	(29) 50	(29) 46	(17) 38	(17) 38	(17) 37	(17) 36	(1) 13	(1) 10	(1) 8	(1) 8	(47) 102	(47) 99	(47) 95	(47) 90
富山県	(2) 5	(2) 5	(2) 4	(2) 3	(1) 1				1	1			(3) 7	(2) 6	(2) 4	(2) 3
石川県	11	11	11	10	3	3	3	3	2	1	1		16	15	15	13
福井県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1									(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1
山梨県					1	1	1	1					1	1	1	1
長野県	(3) 14	(3) 14	(3) 13	(3) 8	6	6	4	4	3	3	2	2	(3) 23	(3) 23	(3) 19	(3) 14
岐阜県									2	2	2	2	2	2	2	2
静岡県	(1) 3	(1) 3	(1) 3	(1) 3	(1) 2	(1) 1	(1) 1	(1) 1	1	1	1	1	(2) 6	(2) 5	(2) 5	(2) 5
愛知県	(3) 6	(3) 6	(3) 6	(3) 5	3	3	3	3					(3) 9	(3) 9	(3) 9	(3) 8
三重県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1									(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1
滋賀県																
京都府	3	3	3	1	4	4	4	4	2	2	2	2	9	9	9	7
大阪府	3	3	3	3	1	1	1	1	1				5	4	4	4
兵庫県																
奈良県																
和歌山県																
鳥取県																
島根県																
岡山県									1	1	1	1	1	1	1	1
広島県																
山口県	(1) 2	(1) 2	(1) 1	(1) 1									(1) 2	(1) 2	(1) 1	(1) 1
徳島県																
香川県																
愛媛県																
高知県																
福岡県	1	1	1	1									1	1	1	1
佐賀県																
長崎県																
熊本県	1	1	1	1									1	1	1	1
大分県	2	2	2	1									2	2	2	1
宮崎県																
鹿児島県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1									(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1
沖縄県									2	2	2	2	2	2	2	2
外国	4	4	4	3	7	6	6	5	10	9	5	5	21	19	15	13
計	(50) 207	(50) 206	(50) 196	(49) 158	(25) 143	(24) 135	(24) 122	(24) 108	(3) 61	(3) 50	(3) 39	(2) 36	(78) 411	(77) 391	(77) 357	(75) 302

注) 1 ()内は、現職教員(3年以上の教職経験を有する者)を内数で示す。

主要日誌

■大学

月 日	事 項
3月1日 (月)	第9回国際交流推進室会議 平成21年度学生支援研究会
3月2日 (火)	第16回評価支援室会議 ファカルティ・ディベロップメント研修会
3月3日 (水)	第5回情報メディア教育支援センター運営委員会 第9回衛生委員会 第13回教務委員会
3月4日 (木)	第8回学生委員会 第15回GP支援室会議
3月5日 (金)	平成22年度大学院入学者選抜試験 (後期募集)
3月8日 (月)	第104回教授会 第4回就職委員会 第14回入学試験委員会 平成21年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修 (~3/9 (火)) 第3回カリキュラム企画運営会議
3月9日 (火)	平成22年度学部一般入試 (前期日程) 合格者発表
3月10日 (水)	第92回教育研究評議会 留学生バスツアー (~3/11(木)) 第3回施設安全・環境委員会 第2回保健管理センター運営委員会
3月11日 (木)	第18回学長選考会議 第26回経営協議会 第7回教育実習委員会
3月12日 (金)	第56回役員会 平成22年度学部一般入試 (後期日程)
3月15日 (月)	2009年度上越教育大学国際交流のつどい 第14回教務委員会
3月16日 (火)	第15回入学試験委員会
3月17日 (水)	第105回教授会
3月18日 (木)	2009年度国費外国人研究留学生修了証書授与式 平成22年度大学院入学者選抜試験 (後期募集) 合格者発表
3月19日 (金)	平成21年度学位記授与式, 卒業証書・学位記授与式, 学生表彰式 平成21年度修了・卒業祝賀会
3月22日 (月)	第106回教授会 第93回教育研究評議会 第16回入学試験委員会
3月23日 (火)	平成22年度学部一般入試 (後期日程) 合格者発表 退職者永年勤続表彰状授与式
3月26日 (金)	兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科学位記授与式
3月29日 (月)	臨床研究棟オープンニング見学会
4月6日 (火)	平成22年度入学式 平成22年度新入生オリエンテーション (~4/7 (水))
4月7日 (水)	第1回教育実習委員会
4月9日 (金)	第1回教育実習連絡会
4月12日 (月)	新入生ノートパソコン準備講習会 (~4/23 (金) ※土・日を除く)
4月13日 (火)	留学生オリエンテーション 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科入学式
4月14日 (水)	第94回教育研究評議会 第57回役員会 海外学生派遣プログラム説明会 情報セキュリティ講習会
4月19日 (月)	第1回教育実習協力校 (園) 会議 第34回大学改革委員会

月 日	事 項
4月21日 (水)	第1回入学試験委員会 第1回教務委員会
4月23日 (金)	第4回カリキュラム企画運営会議 平成22年度新入生合宿研修 (~4/24 (土))
4月27日 (火)	海外教育(特別)研究C(韓国) (~5/7 (金)) 第17回評価支援室会議
4月28日 (水)	第1回地域連携推進室会議 第107回教授会 第1回フレンドシップ事業企画運営協議会

■附属幼稚園

月 日	事 項
3月3日 (水)	ひな祭り会
3月8日 (月)	平成22年入園児選考検査(欠員募集)
3月18日 (木)	第16回修了証書授与式
3月19日 (金)	第3学期終業式
3月26日 (金)	離任式
4月1日 (木)	開園記念日
4月5日 (月)	一日入園
4月7日 (水)	第19回入園式
4月8日 (木)	新任式 第1学期始業式

■附属小学校

月 日	事 項
3月16日 (火)	第3学期終業式
3月17日 (水)	第29回卒業式
3月20日 (土)	欠員入学選考
3月25日 (木)	離任式
4月1日 (木)	開校記念日
4月7日 (水)	新任式、第1学期始業式、第29回入学式
4月12日 (月)	5・6年PTA 1年生給食開始
4月13日 (火)	発育測定 3・4年PTA
4月14日 (水)	1年生歓迎会 2年PTA
4月15日 (木)	1・3・5年視力聴力検査
4月16日 (金)	1年PTA 2・4・6年視力検査
4月19日 (月)	1・2年内科検診
4月21日 (水)	ふれあい集会
4月22日 (木)	ぎょう虫検査 歯科検診
4月23日 (金)	避難訓練
4月26日 (月)	3・4年内科検診
4月27日 (火)	5・6年内科検診
4月30日 (金)	PTA総会

■附属中学校

月 日	事 項
3月4日 (木)	学校評議員会
3月6日 (土)	第29回卒業証書授与式
3月16日 (火)	2学年修学旅行 (~3/19 (金))
3月24日 (水)	第3学期終業式
3月26日 (金)	離任式
4月1日 (木)	開校記念日
4月8日 (木)	新任式 第1学期始業式 第30回入学式



上越教育大学学報

第112号 平成22年5月10日発行

上越教育大学総務部総務課

〒943-8512 上越市山屋敷町1番地

電話 025-521-3214 / 3215